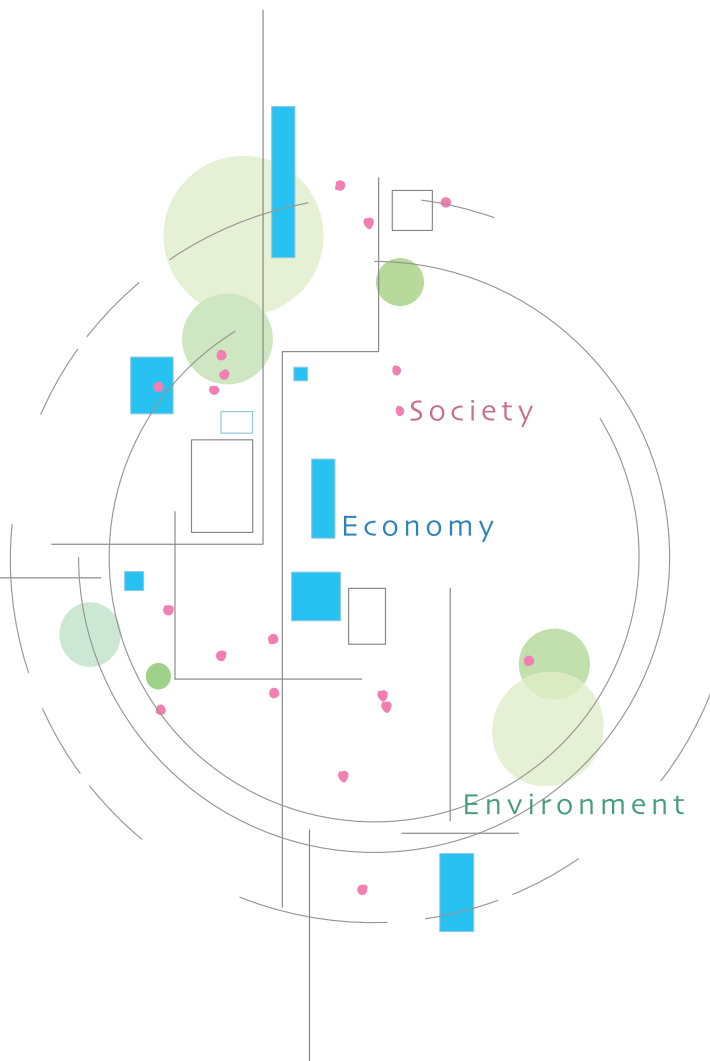


持続可能な社会をみつめて・・・

Wedo! 2008

FOR  
SUSTAINABLE  
GOOD LIFE

広島ガス CSR報告書



# Contents

目次・発刊にあたって	1
CSRへの取り組み(基本的な考え方)	2
TOP MESSAGE	3
重要課題への取り組み「都市ガスと安全」	5
広島ガスの概要	7
広島ガスグループの概要	9
2007年度トピックス	10

## 経営分野

広島ガスグループの経営体制	11
コンプライアンス・情報セキュリティへの取り組み	14
都市ガス事業	15
広島ガスの都市ガス安定供給への取り組み	16
2008年度事業計画の概要	17
経営効率化目標の達成状況について	18
業績概要(連結)	19
業績概要(単体)	21
投資情報	22

## 環境分野

クリーンエネルギー天然ガス	23
環境保全活動の基本的な考え方・しくみ	25
環境目標および実績	27
事業活動における環境負荷	29
環境会計	31
お客さま先での環境負荷の低減	33
事業活動における環境負荷の低減	35
地域環境保全への貢献	37
環境活動のあゆみ	39
データ一覧	40

## 社会分野

社会活動の考え方	41
お客さまとの関わり	43
地域社会との関わり	47
次世代教育への取り組み	49
従業員との関わり	51
情報発信・コミュニケーション	53

本誌の記載項目のうち、関連するページおよび広島ガスホームページにも掲載されている事項を、下記のように表記しておりますのでご参照ください。

**P.\*** 詳しくは \* のページをご参照ください。

**HP** 詳しくは広島ガスホームページをご参照ください。  
<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>

1909年の創立以来、炎が創る生活の素晴らしさをお届けしています。

# Wedo! 2008

FOR SUSTAINABLE GOOD LIFE

## 広島ガスCSR報告書「We do!」2008

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年、一つの指標としてCSRの観点から企業を評価する等、企業のCSR活動への注目は高まっています。

広島ガスでは、2000年度から当社の開示情報を環境分野と経営分野の両面から報告することを目的に本誌を発行してきました。2003年度版からは、GRIのガイドラインを参考に新たに社会的側面も報告対象とし、2005年度版からは、社会分野を他のパートから独立して設け、「経営(経済)」「環境」「社会」の3分野で構成、標題も「CSR報告書」として発行しています。

2008年度版では、ガス業界における重要課題の一つである「都市ガスと安全」について重点記載(P.5~6)するとともに、社会分野におけるお客さまとの関わりの中で、安全性の確保に向けた従業員の取り組みに関する記載(P.43~46)を拡充しています。

本誌をご覧いただき、当社および当社グループの現状と将来性をより深くご理解いただければ幸いです。

## 参考ガイドライン

・環境省「環境報告ガイドライン 2007年版」・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」  
GRI:Global Reporting Initiativeの略。全世界で適用可能な報告書ガイドライン作成に取り組んでいる国際組織

## 主な対象範囲

広島ガス株式会社の2007年4月から2008年3月までの活動(経営・環境・社会)  
一部広島ガスグループおよび2008年度上期の活動を含む

## 広島ガス「We do! 2008」によせて



神戸大学大学院 経営学研究科  
こく部 かつひこ  
國部 克彦教授

広島ガスのCSR報告書は、経営・環境・社会についての取り組みを包括的に説明したアニュアルレポートです。経営面への努力、環境保全への取り組み、より良い社会のための貢献など、地域企業としての同社の活動内容が的確に報告されています。

今年度の報告書では、「お客様との関わり」を事業プロセスと関連させて、昨年より一層分かりやすく開示されています。また、従業員の声も多く取り入れられており、会社全体の活動が生き生きと伝わります。環境活動についても、概ね目標を達成され、今年度はオフィスにおけるCO<sub>2</sub>削減などの新たな目標を取り入れられたことも評価できます。

広島ガスは創立100年を機に「百年紀中期経営計画」を策定し、その実現に向けて努力されています。環境問題も社会問題も長期的な視点が重要ですので、これを機会に超長期的な視点を少しでも取り入れられることを期待します。特に、地域の発展に会社としてどのように貢献できるのかが重要なポイントとならば幸いです。

そのためには、地域の方々との積極的な対話が必要だと思います。CSR報告書は、会社にとって社会に開かれた窓でもありますので、これをひとつの手段として、積極的なコミュニケーションを展開されることを期待しています。

## CSRへの取り組み(基本的な考え方)

CSR(企業の社会的責任)には、「経営(経済)」「環境」「社会」の3つの側面があり、サステナブル(持続可能な)社会の実現のためには、企業活動としてこれらの3つの要素が必要とされています。

当社および当社グループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安全にお届けし、安心して安全にお使いいただくという、極めて公益性の高い事業を行っており、その事業の遂行こそが大きな「社会的責任」であると考えています。また、クリーンエネルギー・天然ガスの供給・普及拡大を基軸とした環境負荷の低減や、日常からのさまざまな業務や活動を通じ、お客さま・地域社会・株主の皆さまを始めとするすべてのステークホルダー(利害関係者)から信頼され、選択され続ける企業グループをめざしています。

経営理念

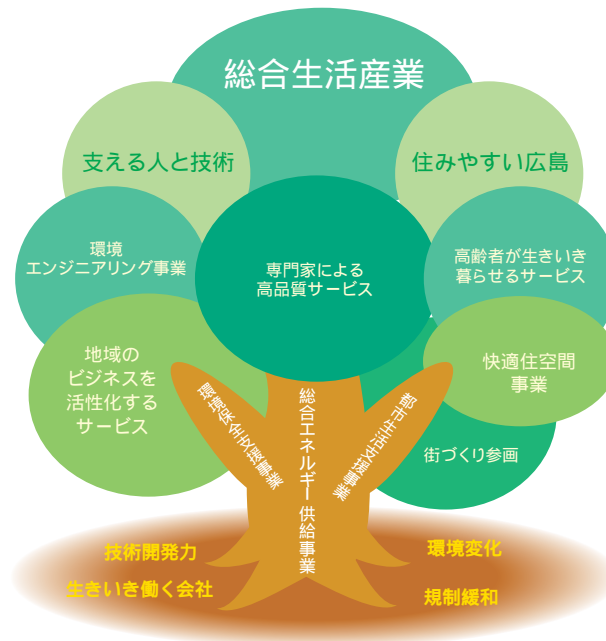
地域社会から信頼される会社をめざす

ビジョン  
「WING2010」

総合エネルギー供給事業、都市生活支援事業、環境保全支援事業の3つを柱とする「総合生活産業」をめざす

総合エネルギーの供給を核として、広島ガスグループのネットワークを活用したさまざまな事業展開を図ってまいります。具体的には、都市ガス・LPGの供給に加え、複合エネルギーとして電気・熱の供給も視野に入れた「総合エネルギー供給事業」、地域の皆さまの生活に関わる「都市生活支援事業」・「環境保全支援事業」の3つの事業分野を柱とする「総合生活産業」をめざしてまいります。

こうした総合生活産業としての事業活動を通じて、「人々の快適な暮らし」に貢献し、「生きいきとした街づくり」「住みやすい地域づくり」に役立つことが使命と考えています。



新3カ年計画「百年紀中期経営計画」 広島ガスグループ基本方針  
グループ経営体制の充実に取り組み、継続的にグループ企業価値を向上させる

1. 総合エネルギー供給事業をコア事業とし、関連サービス機能の充実と併せ、お客さま満足度を向上させる。
2. グループ各社の収益性を高め、健全で強靱な企業体質を獲得する。
3. お客さま、地域社会の信頼に応える行動を通じて、選択され続ける企業グループをめざす。
4. グループ各社の成長を担う人材の育成を推進する。

百年紀中期経営計画  
2008年度事業計画

P.17  
単体ベース

サステナブル(持続可能な)社会の実現にむけて

# TOP MESSAGE

## || はじめに

当社は、1909年10月創立、2009年10月に100周年を迎えることとなります。1910年10月に1,242件のお客さまにガスの供給を開始して以降、戦災等の幾多の苦難を乗り越え、地域の皆さまと共に歩み続けてまいりました。

現在(2008年3月末)では、広島県内の約43万件のお客さまに都市ガスを、グループ会社を通じ、中国地方の約18万件のお客さまにLPG(液化石油ガス)をお届けし、地域の生活や経済活動等に密着した活動を展開しております。

## || 広島ガスにおけるCSR経営について

当社が果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、日夜、エネルギーの安定供給および安全性の確保に向けた事業活動を展開していくことであると考えています。

CSR(企業の社会的責任)には、「経営」「環境」「社会」の側面があると言われております。当社は、経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施等を、環境的側面ではクリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大等を、社会的側面では社会貢献活動および広報・広聴活動を積極的に推進し、お客さま・地域社会・株主の皆さまを始めとする全てのステークホルダーの皆さまから信頼され、選択され続ける企業グループをめざし、全力で取り組んでいます。

## || 安心・安全にガスをお使いいただくために

お客さまに安心して安全にガスをお使いいただくため、2008年度も引き続き、経年ガス導管の効率的な入れ替えや、安全なガス消費機器への取り替え促進等の活動を継続してまいります。

また、2008年4月から発売を開始しております、安全機能と便利機能を兼ね備えた新製品「Siセンサーコンロ」の普及拡大を図ってまいります。

こうした取り組みを通じて、お客さまがガスをご使用になる際の安全性の一層の向上に努めてまいります。

## || 「百年紀中期経営計画」の達成に努めます

当社グループを取り巻くエネルギー業界は、ここ数年高騰が続いている原油価格が今後も高水準で推移することが想定される中、規制緩和並びにエネルギー関連技術の進展等により、エネルギー事業者間の競争が一段と激しくなることが予想されます。

このような状況のもと、2009年に100周年を迎える当社は、次の100年につなげていく、すなわち新世紀への橋渡しの意味を込めた新3カ年計画(2008年～2010年の3カ年)「百年紀中期経営計画」を策定しました。

基本方針といたしましては、本3カ年を広島ガスグループの経営基盤の強化期間と位置づけ、グループ経営体制の充実に向けて取り組み、継続的なグループ企業価値の向上に努めてまいります。

## || 天然ガスの普及拡大を通じ、低炭素社会の実現に貢献します

地球温暖化対策においては、京都議定書目標達成計画の第一約束期間を迎え、2010年度における目標の精査と追加対策の検討が行われるとともに、世界的にはポスト京都に向けた枠組みの議論が開始されております。特に、2008年7月に開催された北海道洞爺湖サミットは、低炭素社会構築に向けたメッセージを日本が世界に向けて発信していく重要な場となりました。

その意味において、天然ガスは、他の化石燃料に比べ環境負荷が低く、環境特性に優れたエネルギーであり、その普及拡大を図ることによって「低炭素社会の実現」に貢献できるものと考えております。

当社は、これまでも高効率給湯器「エコジョーズ」やエネルギー利用効率の高い「ガスコージェネレーションシステム」等の導入を通じて天然ガスの普及拡大を図り、お客さま先・地域における省エネルギーやCO<sub>2</sub>の排出削減といった環境負荷の低減に努めてまいりました。

今後も、2009年度における家庭用燃料電池の本格的市場投入や、将来の水素社会構築に備えた供給システムの技術調査等、ガス業界の動きに沿った活動を展開し、天然ガスの更なる高度利用に向けて、積極的に取り組んでまいります。

このほか、環境保全全般に関わる活動として、当社の環境目標を改訂し、オフィス部門におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた活動を強化する等、事業活動における環境負荷の低減を図っています。

また、地域にエネルギーを供給する事業者として、行政・学校・地域社会・地元企業等の関係者の皆さまと共に環境保全に関する啓発活動を推進する等、地域と連携した活動を展開しています。

## 地域に密着した活動を通じ、 地域社会の活性化を図ります

当社は、地域のお客さまに、安心して安全にお使いいただけるガス体エネルギーをお届けし、地域の皆さまと共に歩み続けてまいりました。今後、当社が発展していくためには、地域の活性化と発展が不可欠であると考えています。そのため、当社は、エネルギーの安定供給および安全性の確保という本来業務に加え、地域に密着した活動を展開し、地域社会の活性化と発展に資するよう積極的に取り組んでまいります。

現状においては、広島三大プロ団体である広島東洋カープ、広島交響楽団、サンフレッチェ広島に対する支援に加え、社内のバドミントン実業団チームによる学校等でのバドミントン講習会の開催、さらには、エネルギー環境教育を中心とした次世代教育の実施等、文化面・教育面・スポーツ面における地域貢献も積極的に推進し、企業の社会的責任を果たすべく努力しております。

今後もこのような活動を軸として、地域と共にサステナブル（持続可能な）社会の実現に向けて取り組んでまいります。

## 公正かつ透明な事業運営を推進します

当社は、地域社会から信頼される会社をめざし、グループ全体にコンプライアンス意識を徹底し、内部統制を強化するとともに、適切かつタイムリーな情報公開により、公正かつ透明な事業運営を推進してまいります。

## おわりに

近年のエネルギー業界は、規制緩和等に伴うエネルギー事業者間の競争激化や環境問題への対応の必要性の高まり等、かつてない大きな変化が生じています。

しかし、こうした変化をむしろチャンスと捉え、これまでになく大胆な変革や取り組みにより、お客さまにエネルギー利用のベストミックスをご提案し、果敢にチャレンジしていくことが重要であると考えております。

私は以前から、自分の造語である「HERE AND NOW」という言葉を大切にしています。その意味は、今という時は二度と訪れないのであれば、その場、その一瞬に全力投球をしていこうというもの。当社グループの社員とともに、「この時」「この場」「この一瞬」に全力を集中して、この難局を乗り越え、皆さまから信頼され、選択され続ける企業グループをめざしてまいります。

2008年9月  
代表取締役 社長執行役員

深山英樹



重要課題への取り組み

# 都市ガスと安全

ガスを安定的かつ安全にお届けし、お客さまに安心して安全にガスをお使いいただくことは、ガス事業者にとって事業の根幹であり、社会的な責務です。広島ガスでは、2002年4月の天然ガス転換完了以降、ガス中に一酸化炭素を含まない天然ガスをお届けするとともに、従来からお客さまに安全にガスをお使いいただくためのさまざまな対策を講じてきましたが、近年発生したガス事故の再発防止に向け、より一層の保安対策強化に努めています。

## Interview

取締役 常務執行役員 (エネルギー事業部長) **中丸 直明**

### お客さまに安全にガスをお使いいただくために(消費段階における保安対策)

広島ガスでは、お客さまのガス設備に対する法定保安点検の確実な遂行や、当社ホームページなどを通じた安全周知の強化に努めるとともに、安全型機器への取替促進や給排気設備の改善にも取り組んでいます。

こうした取り組みに加え、2008年4月から、家庭用ガスコンロ(卓上型一口コンロを除く)の全口に安全装置を搭載した新製品「Siセンサーコンロ」を発売しており、台所からの火災根絶をめざし、その普及に努めています。

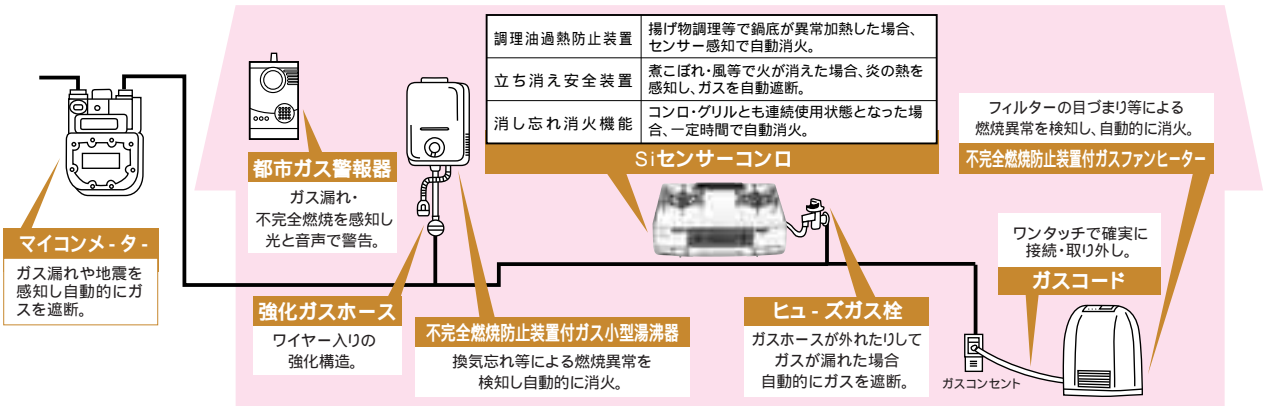


Siセンサーコンロ ネーミングの由来(ガス業界統一名称)

「S」はSafety=安心、Support=便利、Smile=笑顔、「i」はintelligent=賢いを表しており、安心、便利、笑顔を約束する、賢いセンサーを搭載した新しいコンロという意味合い

## 広島ガスでの安全対策(例)

### お客さま先ガス設備での安全機能(例)



### ガス事故の再発防止に向けた保安対策(例)

#### 点検の強化

- ・ガス導管の臨時点検の実施、点検頻度の強化
- ・ガス消費機器の臨時点検 (広島ガスグループ・メーカー等と連携して実施)

#### 啓発活動の推進

- ・お客さま等への啓発活動の推進 (CM、新聞広告、ダイレクトメール、ホームページ等)

#### 保安対策の強化

- (中期経営計画・事業計画への反映 P.18)
- ・経年本支管の取替促進
- ・経年埋設内管(お客さま資産)対策の計画的な実施
- ・給排気設備の改善、安全型機器への取替促進 など



### 都市ガスの製造・供給等、各段階での安全対策 P.43

## Interview

社団法人 広島消費者協会 会長 **中原 律子さん**



### 安全意識の醸成には、消費者が身近に感じるキーワードが有効では

最近では、家電製品等と同様、ガス器具についても、品質・性能向上に伴う長寿命化や消費者の節約志向もあり、長期間使用されるケースが多くなっています。最終的には、消費者側で経年劣化に伴うリスクを認識する必要がありますが、消費者が正しく判断・認識するためには、まずはガス事業者側において、しっかりと説明責任を果たしていただくことが大前提になってくると思います。

一方で、地球温暖化が影響と思われる自然現象の変化が身近になると、省エネ製品の売上が伸びるといった、消費者意識の変化の例もあります。ガスの場合も同様で、安全意識を醸成し、Siセンサーコンロ等の安全機器への取り替えを促進するためには、販売価格の更なる低減とともに、単に従来通りの周知の回数を増やすだけでなく、消費者の視点が変わり、その必要性が身近に感じるようなキーワードを用いると有効ではないでしょうか。



## 災害発生時等緊急時の保安対策

### 万全の緊急措置体制により、災害発生時等でもエネルギーの安定供給と保安の確保に努めてまいります。

当社では、日頃から地震・火災・台風・洪水等の緊急事態に備えて体制を整備し、被害の未然防止にむけ、さまざまな安全対策を講じています。

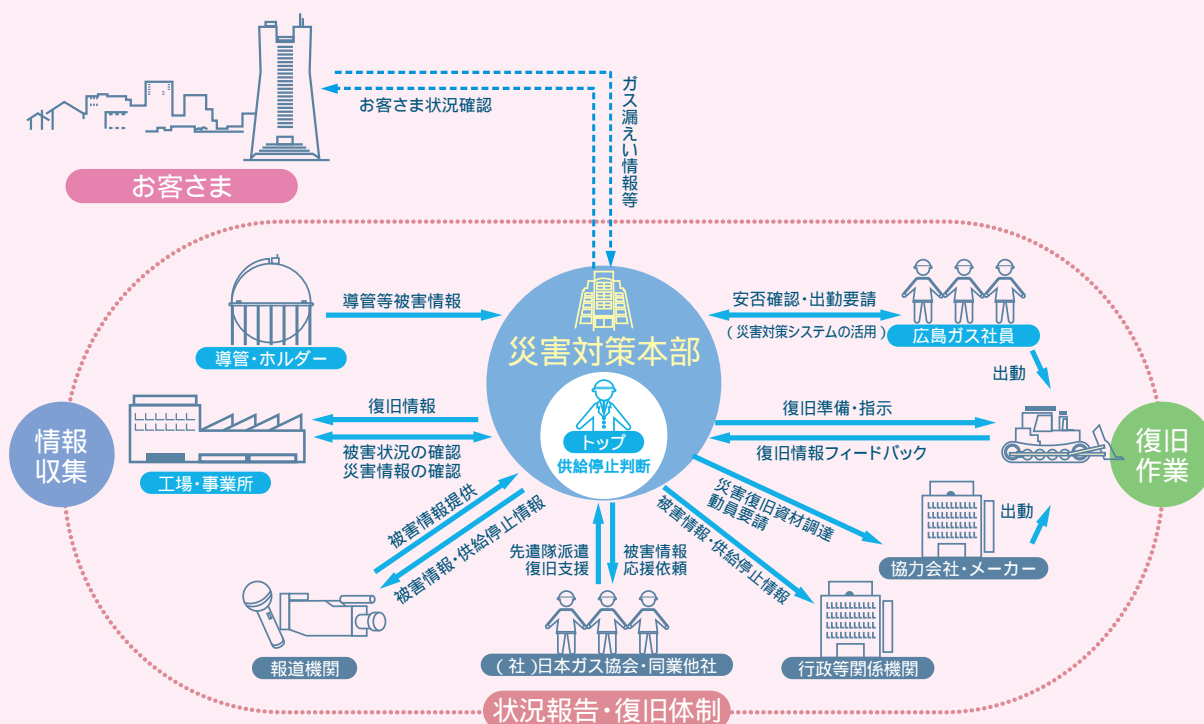
被害が発生した場合、または被害の発生が予想される場合は、関連情報(工場、導管、お客さま、気象等の状況)の早期収集に努め、必要に応じ警戒体制、または社長を本部長とした対策本部を設置します。

万一被害が発生した場合でも、関係各所と連絡・連携を取りながら、被害の拡大や二次災害の防止のための措置を行い、可能な限り早期の復旧をめざして対応していきます。

また、被害や対応の状況は、行政等の関係機関、報道機関に対しても適宜発信します。

被害が大きい区域は、ガスの供給を停止することがあります。

災害対策時の情報伝達概念図



## 都市ガスと地震対策

都市ガス業界では、国や専門家等と連携・協議し、過去の地震災害の経験・知見、各界の地震対策の進展等をもとに、対策の充実に取り組んでいます。

近年では、1995年1月に発生した兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)をもとに、国が対策の方向性等を盛り込んだ報告書を作成。ガス事業者は、その報告書等により対策を講じてきました。

その後発生した新潟県中越地震と新潟県中越沖地震を受け、これまで国や業界で構築した対策の有効性や、新たな知見・対策を盛り込んだ報告書を国が取りまとめました。

広島ガスでは、法令はもとより、これらの報告書・業界基準・自社基準等に基づいた地震対策を講じ、被害の未然防止、拡大防止、迅速な復旧体制の構築等に努めています。

- 広島ガスにおける対策(例) **HP** **P.43** —
- マイコンメーターの設置  
(ガス漏れや地震を感知してガスを自動的に遮断)
  - 行政や業界の基準に対応した耐震設計  
(製造設備・供給設備等)
  - 耐震性の高い導管設備の導入  
(ポリエチレン管、融着継手、メカニカル継手等)
  - 導管網の区分化(ブロック化)による被害の最小化
  - 緊急措置要領の見直し、拡充
  - 災害対策システムの構築・運用  
(安否確認・出勤要請・被害想定等)
  - 社員教育、地震訓練の実施 等

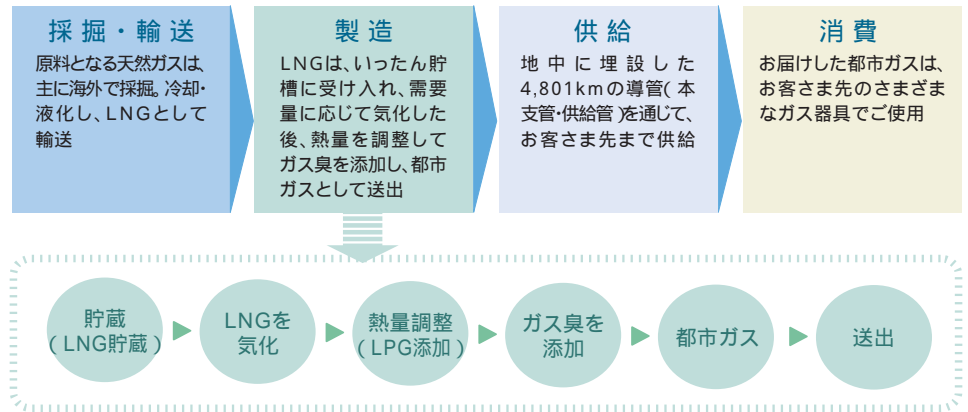
# 広島ガスの概要

当社は、1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初的气体事業者となりました。以来、約1世紀にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。現在では、広島市を中心に県内5市とその周辺地域の42万7千件のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスをお届けしています。

## 都市ガス事業の概要

主原料であるLNG(液化天然ガス)は、主に海外から輸入し、工場の貯槽(タンク)に受け入れます。

その後ガス需要に応じて工場で気化した後、地中に埋設した導管(パイプライン)を通じて、お客さまのもとにお届けしています。



## 広島ガスの供給エリアと体制

### 供給エリア(広島県内5市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町





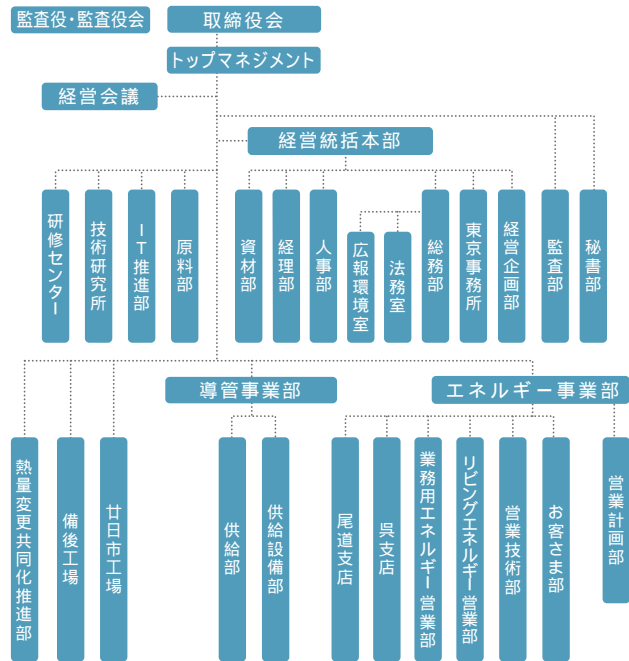


本社所在地 / 広島市南区皆実町二丁目7-1  
TEL 082-251-2151(代表)

創立 / 1909年10月  
資本金 / 32億9千1百万円  
従業員数 / 651名  
事業内容  
(1) ガス事業  
(2) ガス器具の販売  
(3) 液化天然ガスの販売  
(2008年3月末現在)

## 組織図

(2008年4月現在)



- LNGを専用船、専用車(ローリー)で輸送
- 廿日市工場・備後工場・東広島製造所で都市ガスを製造
- 総延長4,801kmの導管(本支管・供給管)を通じて都市ガスを供給
- 瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用して卸供給

凡例			
供給エリア(広島地区)		ガスホルダー	
供給エリア(呉地区)		ガス製造所	
供給エリア(尾道・三原地区)		本社・支店	
幹線(パイプライン)		検討中幹線	

# 広島ガスグループの概要

広島ガスグループ(当社、子会社31社および関連会社15社により構成)においては、主にガス、工事・器具、LPG、その他の4つの事業を行っています。この内、都市ガス・LPG、また複合エネルギーとしての電気・熱を、ワンストップで供給できる総合エネルギー供給事業に経営資源を集中しています。

## ガス事業

- ・都市ガスの製造・供給および販売
- ・他ガス事業者等への卸供給
- ・広島ガス供給エリア外でのLPGを原料とした簡易ガス事業

## 工事・器具事業

- ・ガス機器の販売および関連するガス設備工事の施工
- ・LPG機器の販売、LPG配管工事の施工

## LPG事業

- ・LPGの販売

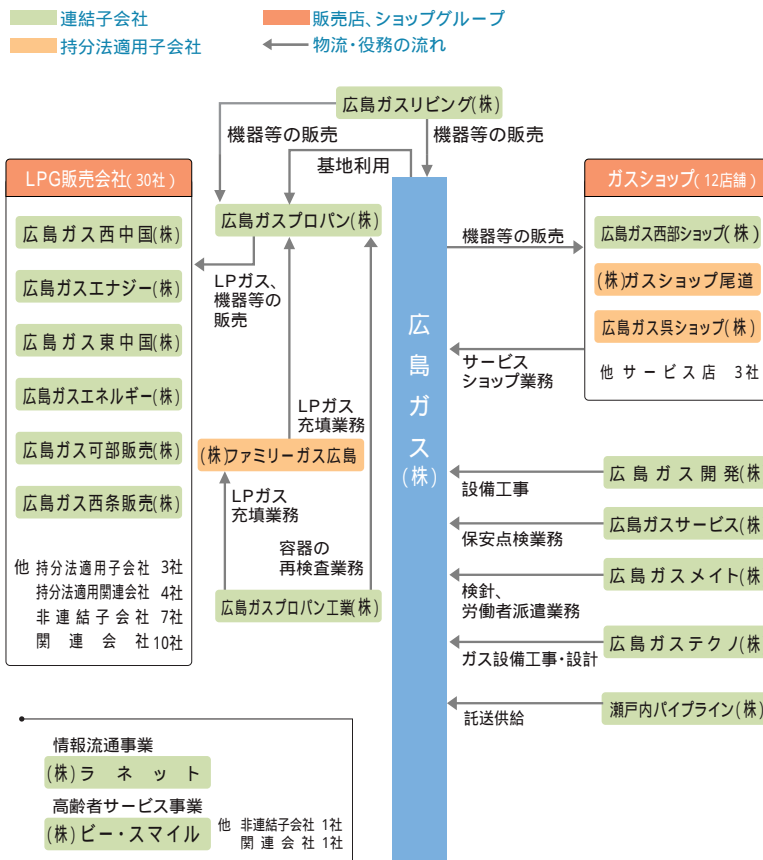
## その他の事業

- ・管工事を中心とした建設工事
- ・保安点検業務
- ・住宅関連機器等の販売
- ・検針業務および労働者派遣業務
- ・機械器具設置工事および産業廃棄物再資源化事業
- ・お客さまサービス業務
- ・LPG充填業務
- ・容器の再検査業務
- ・情報通信事業
- ・高齢者サービス事業

## 事業系統図

(2008年3月末現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて47社で構成されています。



## 主要子会社の概要

(2008年3月末現在)

**広島ガスプロパン株式会社**  
 資本金 / 3億円 創業 / 1969年3月  
 売上高 / 13,020百万円 従業員数 / 88名

**広島ガス開発株式会社**  
 資本金 / 8千4百万円 創業 / 1970年4月  
 売上高 / 15,287百万円 従業員数 / 88名

**広島ガスサービス株式会社**  
 資本金 / 2千万円 創業 / 1972年4月  
 売上高 / 1,622百万円 従業員数 / 83名

**広島ガスリビング株式会社**  
 資本金 / 2千万円 創業 / 1975年5月  
 売上高 / 7,532百万円 従業員数 / 14名

**広島ガスメイト株式会社**  
 資本金 / 2千万円 創業 / 1975年4月  
 売上高 / 854百万円 従業員数 / 133名

**広島ガステクノ株式会社**  
 資本金 / 8千万円 創業 / 1998年6月  
 売上高 / 1,898百万円 従業員数 / 16名

**株式会社ラネット**  
 資本金 / 3千万円 創業 / 2000年10月  
 売上高 / 648百万円 従業員数 / 6名

**株式会社ビー・スマイル**  
 資本金 / 5千万円 創業 / 2001年6月  
 売上高 / 182百万円 従業員数 / 31名

**瀬戸内パイプライン株式会社**  
 資本金 / 1億5千万円 創業 / 2003年5月  
 売上高 / 567百万円 従業員数 / 4名

(注) 広島ガス佐伯宮島販売(株)および広島ガス西部販売(株)は、2008年1月1日付で広島ガス西中国(株)を存続会社として合併しました。

# 2007年度トピックス

2007年5月 **関連 1** **HP**

尾道支店に体験型  
ショールームをオープン

2007年8月 **HP**

信託型従業員持株インセンティブ・  
プラン( E-Ship )を導入

2007年8月 **関連 2**

第1回ウイズガス全国親子クッキング  
コンテスト広島地区大会開催

2007年10月 **関連 P.45** **HP**

広島ガス全エリアのお客さま  
( 広島、呉、尾道・三原地区 )  
の受付窓口を一本化する  
コールセンターを本格稼働

2007年10月 **関連 P.16** **HP**

東広島製造所 第2期工事の竣工

2007年11月 **関連 P.16** **HP**

LNG船「サン アローズ」就航

2008年3月 **関連 P.36**

「建設発生土利用促進による環境対策・  
工事費低減」の取り組みが、  
社内業務改善表彰の社長賞を受賞

2008年3月 **関連 P.33**

当社技術研究所で開発した  
「工業用高効率省エネバーナ」が、  
(社)日本ガス協会の技術賞を受賞

2008年3月

当社環境目標を改訂、オフィス部門のCO2  
排出量削減に向けた活動を強化

## 1 尾道支店に 体験型ショールームをオープン

2007年5月、尾道支店において、快適なガスライフならびに充実した楽しい生活をご提案する体験型ショールーム「ガストピアおのみち」をオープンいたしました。

尾道・三原地区では、お客さまが実際にガスの良さを体験・体感できる初めての施設になります。最新式の高スコンロやミスト付浴室暖房乾燥機、エコウィル等を使った快適ガスライフを実感していただくことで、潤いのある生活へのサポート施設となるよう努めています。



ガストピアおのみち

## 2 第1回ウイズガス(\*) 全国親子クッキングコンテスト広島地区大会開催

このコンテストは、親子で日ごろから炎を使った調理を楽しんでいただくことを目的に、全国の都市ガス事業者を8ブロックに分けて行われたものです。

2007年8月、当社ガストピアセンターにおいて、広島地区での応募総数18組の内、書類選考を通過した11組の親子が、地域の食材等を活用して、うまく役割分担しながら料理の腕前を披露しました。



親子クッキングコンテスト

### \* ウィズガスとは

(社)日本ガス協会が「ガスのある暮らし」の良さや快適性等をお伝えするために掲げたキーワード。全国のガス事業者がこのロゴを統一使用しています。



LNG船サン アローズ



東広島製造所



(社)日本ガス協会技術賞を受賞



工業用高効率省エネバーナ

# 経営分野

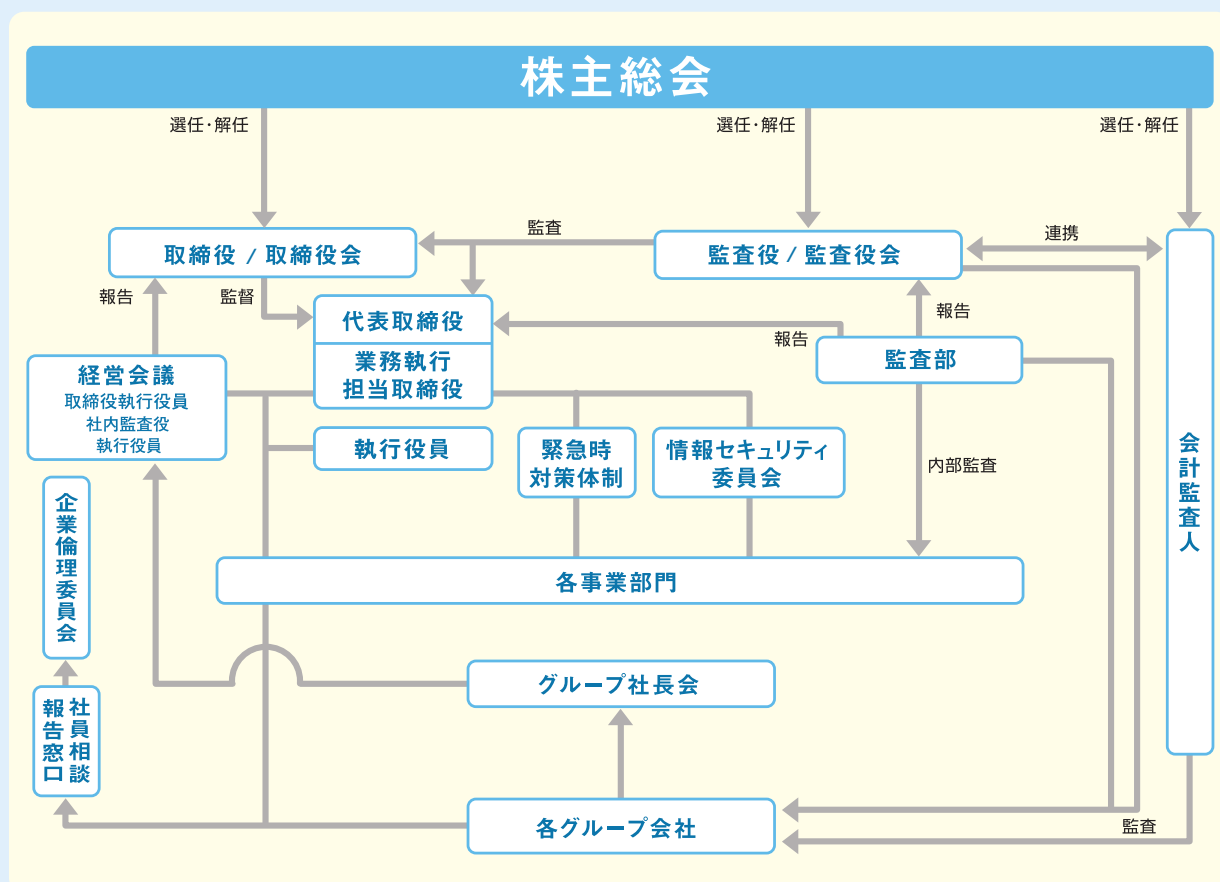
エネルギーの安定的かつ安全な供給、継続的な企業価値の向上をめざし、事業基盤の強化を図るとともに、経営の健全性・透明性の確保に努めてまいります。

## 広島ガスグループの経営体制

### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

コーポレート・ガバナンス(企業統治)とは、企業がその目的に照らして適切に経営されるよう社内外から監視する制度を意味しています。当社は、「お客さま、地域社会、株主の皆さまの信頼に応える行動を通じて、選択される企業をめざす」という経営方針のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。





当社は、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安全にお届けし、安心して安全にお使いいただくという、公益性の高い事業を行っています。

この事業の確実な遂行こそが大きな「社会的責任」であるとの考えのもと、エネルギーの安定・安全供給に資する取り組みを展開するとともに、「お客さま」、「地域社会」、「株主の皆さま」を始めとするすべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選択され続ける企業をめざしています。

## 内部統制

内部統制制度における各経営組織の役割

### 取締役会

内部統制の内容を決定し、業務執行を行う取締役による内部統制の執行状況を監督します。内部統制の内容については、絶えざる見直しが必要であり、担当取締役、監査部および監査役からの報告をふまえながら、取締役会は内部統制の内容改善を必要に応じて決定します。

### 代表取締役

取締役会によって決定された内部統制を遂行し、その機能を維持する責任は、代表取締役をはじめとする業務執行を担当する取締役にあります。代表取締役は、監査部、監査役その他の取締役ないし執行役員の意見を聴取した上で、内部統制組織の改善を取締役に提案します。

### 監査役会

監査役会は、取締役会による内部統制の内容決定および、代表取締役をはじめとする業務執行を担当する取締役による内部統制の維持・遂行を監査します。

監査役会は、監査部および会計監査人から内部統制の状況について報告を受け、改善が求められる内部統制上の欠陥について代表取締役または取締役に報告します。

会社の経営組織の構造

- ・ 執行役員制度  
執行の迅速化および経営と執行との分離を図るため、2004年4月より執行役員制度を導入しています。
- ・ 取締役および執行役員の任期  
取締役および執行役員の任期については、各事業年度の責任を明確にするため、1年としています。
- ・ 取締役会の構成  
取締役会は、意思決定過程の健全性、透明性を高めるため社外取締役4名を含む12名から構成されており、業務執行を行う取締役および執行役員で構成する経営会議で審議された事項の報告・説明を受け、意思決定を行っています。
- ・ 監査役会の構成  
監査役会は、監査の独立性を強化するため社外監査役2名を含む4名から構成されており、社長の直轄部門である監査部および会計監査人から定期的に報告を受け、必要に応じ協議を行い、業務執行の適法性を監査しています。

### リスク管理および法令遵守のためのシステム

各種のリスクを管理し、使用人の職務執行の適法性を確保するため、次のような体制を整備しています。

- 自然災害等に対する対応  
 ガス供給の安定性・安全性を阻害するような大規模な自然災害等によるリスクに対しては、予め規程化している「地震等防災対策要領」に従い、災害・事故発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制等を整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。
- 記録の管理  
 取締役会その他の取締役の職務の執行にかかる情報については、議事録、稟議書および契約書等を、その保存媒体に応じ規程等に則り、十分な注意をもって保存・管理しています。
- 財務報告の適正確保  
 経理規程その他の社内規程を整備し、会計基準その他関連諸法令の遵守を徹底するとともに、当社グループを対象とする「財務報告に係る内部統制制度の方針」に基づき、体制の整備・改善に努めることによりその適正を確保しています。
- 企業グループの業務の適正確保  
 主要な連結対象会社の役員を親会社の役員が兼務することにより、各社の取締役会を通じて職務の執行状況を直接把握するとともに、定期的開催されるグループ社長会からも主要な事項について報告を受けています。またグループ各社に対し、監査役および監査部による定期的な業務監査ならびに会計監査人による財務状況に関する監査を実施し、重要情報の報告を受け、これらの情報を通じて取締役会は、当社グループの経営方針の審議・策定を行っています。
- コンプライアンス(法令遵守)体制 P.14
- 情報システムのセキュリティ確保 P.14

### 内部監査、監査役監査および会計監査の状況

内部監査部門として、社長直属の監査部(4名)を設置しています。監査部は年間監査計画等に基づき、業務活動が法令、内部規程等に則り適性かつ効率的に実施されているか監査し、その結果を社長および監査役に報告するとともに、社内組織に助言・勧告を行っています。

また、監査役、会計監査人および監査部は、監査方針および監査報告等について定期的に会合を持ち、意見交換等を行うことにより、相互の連携を高めています。

### 「内部統制報告制度」への対応

当社は、金融商品取引法に基づき2008年度から適用される「内部統制報告制度」に対応するために、2007年1月にプロジェクトチームを設置。2008年3月に同制度の開始に向けて、財務報告にかかる内部統制の構築を進めてきました。引き続き、内部統制の充実にに向けて取り組んでいきます。

## コンプライアンス・情報セキュリティへの取り組み

### コンプライアンス(法令遵守)体制

2004年4月に「社員相談報告制度」を開設すると同時に、社長および2名の社外弁護士からなる「企業倫理委員会」を設置し、コンプライアンス施策の決定ならびに制度の運用状況の把握と是正策について協議しています。当社グループの社員は企業倫理委員会の委員に相談・報告するためのアクセスを直接することができる体制を整えています。なお、本制度発足に先立ち「広島ガスグループ社員行動指針」を作成し、全社員に小冊子化したものを配布し社員の意識の啓発に努めています。

### 広島ガスグループ社員行動指針(概要)

#### 倫理行動原則

地域社会との信頼構築  
法令や社会的規範を遵守し、  
良き企業市民として行動  
お互いの人格・人権を尊重

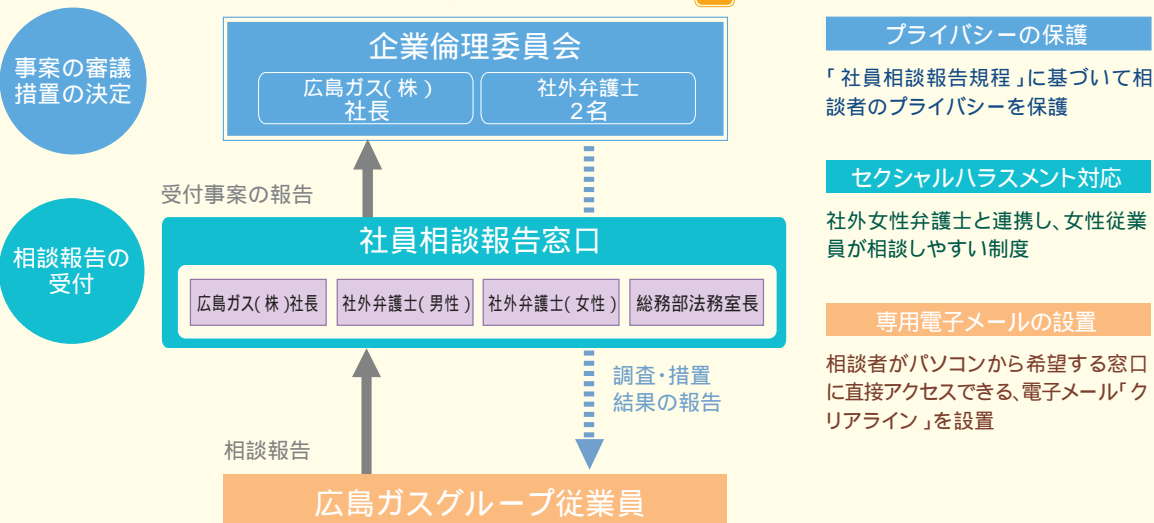
#### 行動基準の要点

お客さまへの誠意ある対応  
事故・苦情への迅速な対応と再発防止  
法令および社内規程等の遵守  
節度ある言動に努める  
社会人としての社会的ルールの遵守



広島ガスグループ  
社員行動指針

## 社員相談報告制度 HP



### 情報システムのセキュリティ確保

情報漏洩等によるリスクに対しては、「情報セキュリティポリシー」に従って、情報セキュリティ委員会を中心とした体制を構築し、個人情報の取り扱いに関する社内啓発活動をはじめ、情報漏洩事故の発生防止に努めるとともに、発生時における情報開示等のあり方についても規程化し、機動的な対応を図っています。

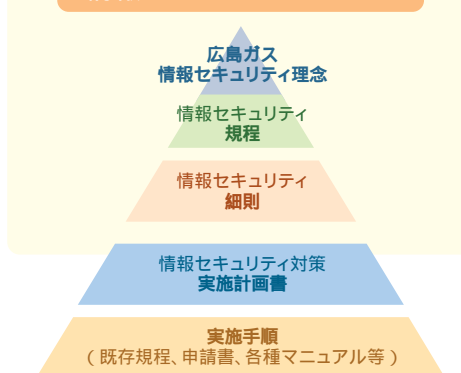


情報セキュリティ学習会



IDカードによるセキュリティ強化  
(パソコン起動・操作、入出門)

### 情報セキュリティポリシー



### 迅速かつタイムリーな情報開示への取り組み HP

当社および当社グループでは、コンプライアンスへの取り組みを徹底してまいりましたが、2007年度は、ガス料金の重複請求等、お客さま・地域社会にご迷惑をおかけした事象が3件発生しました。こうした事象に対しても、当社ホームページやプレスリリース等で適宜情報公開を行うとともに、適切な原因究明と再発防止に努めています。

## 都市ガス事業

### 都市ガス事業者

都市ガス事業者は全国に212事業者(2008年4月1日時点)が点在しています。この業界の特性から、全国8ブロック(北海道・東北・関東中央・東海北陸・近畿・中国・四国・九州)に(社)日本ガス協会の「地方部会」が設置され、地方独自の活動も含めたさまざまな事業を行っています。

(社)日本ガス協会 中国部会・四国部会に所属する14事業者では、協力体制のもと、都市ガスの普及拡大に向けた取り組みを推進しています。

(社)日本ガス協会  
都市ガス事業の健全な発展を図るとともに、産業の振興と文化の進展に寄与することを目的とする都市ガス事業者の団体。

### 都市ガスの原料

都市ガスの原料には、LNG(液化天然ガス)と国産天然ガスの天然ガス系原料と、LPG(液化石油ガス)などの石油系原料があります。現在では都市ガスの原料構成の9割以上が天然ガス系となっています。天然ガスは世界各地に豊富に存在し、可採年数は約60年と言われ、中東地域以外からも確保が可能なエネルギーです。わが国の都市ガス事業者は、主に環太平洋諸国から長期契約に基づいてLNGを輸入し、安定供給に努

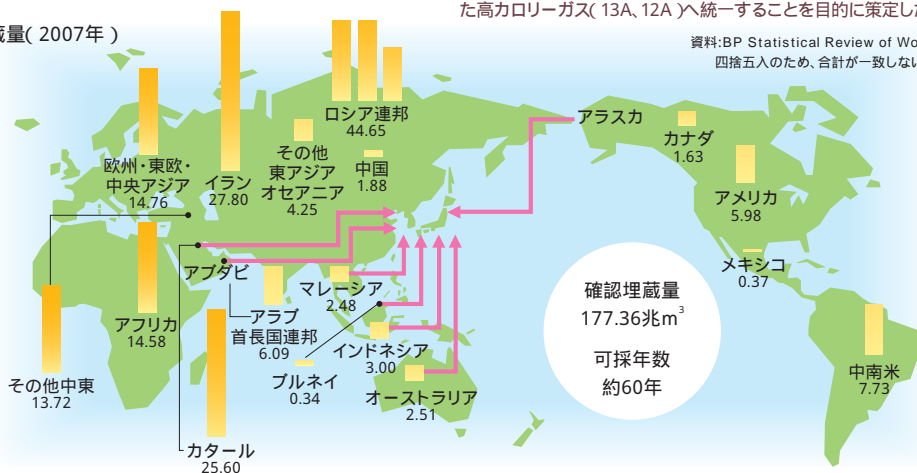
めています。

また、国の基幹エネルギーとして天然ガスの一層の普及が求められ、「IGF21計画」により全国的に高カロリーガスへの統合が進められています。

IGF21計画  
1990年1月に通商産業省(現経済産業省)資源エネルギー庁から提案された「INTEGRATED GAS FAMILY 21計画」を受けて、日本ガス協会および日本ガス石油機器工業会が、2010年を目途に、都市ガスを天然ガスを中心とした高カロリーガス(13A、12A)へ統一することを目的に策定した計画。

資料:BP Statistical Review of World Energy 2008  
四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

天然ガス確認埋蔵量(2007年)  
(単位:兆m<sup>3</sup>)



### 中国・四国地区における天然ガス転換

P.38

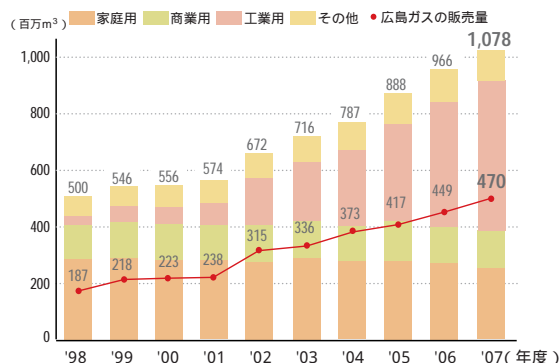
天然ガスなどへの高カロリーガスへの熱量変更作業は、IGF21計画に基づき、全国各地で進められています。当社は2002年4月に天然ガス転換を終了しましたが、引き続き、中国・四国地区では熱量変更完了をめざし、事業者間で連携して取り組んでいます。また、当社は連結子会社の瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用し、2007年1月から福山瓦斯(株)へ卸供給を開始。自社のみならず、他地域での天然ガスの普及促進にも取り組んでいます。



### 中国・四国地区の都市ガス販売量

中国・四国地区のガス販売量が、全国に占める割合は約3%ですが、工業用需要の拡大により年々増加しています。また、当社の2007年度のガス販売量は全国ガス事業者の中では7番目、中国・四国地区ではトップで約44%を占めています。

過去10年間の中国・四国地区のガス販売量の推移  
広島ガスにおける卸供給等は含まない。





## 広島ガスの都市ガス安定供給への取り組み

都市ガスは、電気・水道と並ぶ地域を支える重要なライフラインの一つ。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNGの調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動き等を注視しながら、さまざまな施策を講じています。

各段階での安全対策の取り組み P.43

### LNG安定調達に向けた取り組み

HP

#### LNG調達先の多様化

ここ数年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、当社においても都市ガスの需要増に対応するため、従来からの調達先であるインドネシアに加え、マレーシアからのLNG調達を2006年1月より開始しました。マレーシアとは、2005年度から8年間の契約を締結しています。

また、2009年にはロシア連邦の「サハリン プロジェクト」からの受け入れも開始する予定です。「サハリン プロジェクト」は、LNGの生産規模が年間960万tという大規模なプロジェクトで、当社では2006年4月に売買契約書に調印しました。この契約により、最大で年間21万tのLNGを調達する予定です。

この結果、LNG調達先が多様化でき、より一層の供給安定性向上が期待できます。

#### LNG第3船の就航 / スリヤ アキの追加取得

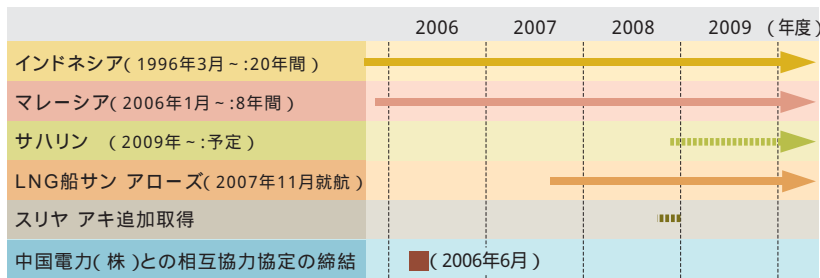
インドネシアからのLNG輸送は「スリヤ アキ」「スリヤ サツマ」で行っています。今般、サハリン プロジェクトからの運搬用として、(株)商船三井との合弁会社が船主となり3隻目のLNG船「サン アローズ」を建造しました(2007年11月就航)。サハリンは日本から近距離で、比較的短期間に輸送できることから、効率的な原料調達が可能になります。

また、2004年12月には「スリヤ アキ」の一部を買い取り、2008年度に75%の取得を予定しています。これらの取り組みによって、より安定したLNG供給体制を確立するとともに、将来にわたるLNG調達コストの低減をめざしています。

#### 中国電力(株)との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、相互のLNGの調達・供給ならびに天然ガスの利用技術開発の分野において申し出がなされた場合、互いの協力を目的とする、相互協力協定を締結しています。

広島ガスのLNG安定調達に向けた取り組み



LNG船 サン アローズ

### 製造・供給設備の拡充

HP

#### 東広島製造所の設備増設(第2期工事竣工)

広島・呉地区における需要増加に対応し、「緊急時」および「ご使用がピークとなる夕方や冬期」の供給安定性向上のため、廿日市工場からのパイプラインネットワークの末端となる東広島市の吉川工業団地に「東広島製造所」を新設(2006年10月)しました。

2007年10月には、LNG貯槽・LNG気化器などを増設する第2期工事が完成、より一層の供給安定性の向上を図っています。



東広島製造所(第2期工事2007年10月竣工)

#### 水島ステーションおよび導管を活用した卸供給の実施(瀬戸内パイプライン(株))

当社の連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備で、水島LNG基地から天然ガスを受け入れ、熱量調整等を行う設備「水島ステーション」および水島 - 福山間の導管(約40km)が2006年11月に完成。広島県東部等に天然ガスを供給する体制を整備し、2007年1月から当社が福山瓦斯(株)に卸供給を行っています。



水島ステーション(瀬戸内パイプライン(株))

## 2008年度事業計画の概要(中期経営計画含む) HP

### 当社を取り巻く状況

LNG(液化天然ガス)の価格は、一般的に原油と連動しています。その原油価格の動向は、2008年度夏場にかけて最高値を更新、その後ひと段落するも、今後も高水準が続くことが懸念されています。

また、近年発生したガス消費機器事故や導管ガス漏れ事故を受けた保安対策の強化や、2007年4月に実施されたガス小売自由化範囲の拡大に伴うエネルギー間競争の激化等、ガス事業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

### 新3カ年計画「百年紀 中期経営計画」の達成に努めます

2009年の創立100周年を控え、次の100年につなげるべく、2008年度からの新3カ年計画を策定。当社グループの経営基盤強化期間と位置づけ、グループ経営体制の充実を図り、継続的なグループ企業価値の向上に努めます。

## 経営方針

### 経営環境変化に的確に対応し、企業価値を向上させる

#### 経営方針1

お客さま満足向上のために最適なエネルギー・サービスの提供と一層の安全、安心の実現をめざす

##### 【取組内容】

家庭用市場への経営資源の重点配分による営業活動の充実  
お客さま接点業務の充実等によるサービス品質の向上  
供給、消費段階における保安対策の計画的な実施  
営業・サービス・保安活動推進のための基盤整備・支援活動の充実

#### 経営方針2

更なる経営効率化を推進し、収益性を高める

##### 【取組内容】

コスト削減計画の達成  
原料対策、要員削減計画、設備投資抑制を実施  
グループ業務の選択・再構築(機能整理)と、グループを含めた要員再配置を実施

#### 経営方針3

お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えする

##### 【取組内容】

コンプライアンスの確実な実行と、情報開示による経営の透明性・財務報告の信頼性の確保  
地域との共生、同業他社・国家プロジェクト・地域の産官学等との連携  
経団連自主行動計画への参画や地域社会と共同した環境保全活動の実施

#### 経営方針4

従業員の意欲、能力を向上させる人材活性化策を推進する

##### 【取組内容】

人材育成・開発、モチベーション向上策等による人材・組織の活性化  
ワークライフバランスの推進  
人権啓発活動の推進

## ガス需給計画(2008～2010年度)

(46.04655MJ/m<sup>3</sup>)

	実績		計画			3年間平均伸び率	
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度			
お客さま件数(年度末)	427千件	427千件	428千件	428千件		0.1%	
ガス販売量 (百万m <sup>3</sup> )	家庭用	107	108	108	108	0.3%	
	業務用	商業用	60	58	52	53	4.1%
		工業用	264	250	276	276	1.5%
		その他	37	36	37	38	0.9%
	合計(卸供給等を除く)	470	453	475	476	0.4%	
	卸供給等	31	49	52	54	20.3%	
総合計	501	503	527	531	2.0%		

端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります 卸供給等は福山瓦斯(株)、瀬戸内パイプライン(株)向けガス供給分

### 家庭用

1世帯当たり人口の減少、ガス機器の高効率化等により、1件当たり販売量は減少傾向でしたが、給湯暖房システムやファンヒーター等の暖房器の拡販およびお得な家庭用料金メニューの普及により、ここ数年は若干の増加傾向に転じています。今後も新築市場、既設市場ともお客さまへの提案活動を推進し、家庭用販売量の維持に努めます。

家庭用重点機器販売、家庭用選択約款契約目標(2008年度)

給湯暖房システム(熱源機ベース)	4,700台
暖房器	4,700台
家庭用選択約款(お得な料金メニュー)	5,700契約

### 業務用

原料費の上昇により業務用市場はかつてないほどの厳しい環境下にあります。

しかし一方では、お客さまの地球環境問題への意識の高まりから、省エネ・省資源面で優れた燃料である天然ガスへの評価は高く、省エネ・省資源化が実現できるガスシステムの提案を継続します。

さらに、お客さまの多様化するニーズ(保安、設計診断、メンテナンス、ファイナンス他)に対しても積極的な対応を継続し、お客さまとの信頼関係の構築に努めます。

## 設備投資計画の概要(2008～2010年度)

P.16

設備投資計画

(単位:億円)

	実績		計画		
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	3年間合計
製造設備	5	24	1	1	26
供給設備	28	31	31	31	93
業務設備等	3	1	1	1	3
合計	36	56	33	33	122

端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります

2008年度の実績

・製造設備:スリヤ アキ追加取得、備後工場LNG気化器増設

環境特性・省エネルギー性に優れた天然ガスの市場拡大に対応し、安定供給体制を確保するため、製造設備および供給設備の増強・改修・入替など、製造・供給インフラの整備を計画的・効率的に行います。

また、2008年度には、2004年度に一部取得したLNG船「スリヤ アキ」の追加取得を行う予定です。

## 保安対策の強化

P.5

お客さまに安心してガスをご利用いただくために、ガス事故防止に向けた保安対策を継続します。

項目	具体的内容
(1)経年本支管対策の強化	ねずみ鑄鉄管:取替を2015年(日本ガス協会目標)までに実施 白ガス管:経年劣化が高いものから計画的に取替え } 対策費 約10億円/年
(2)経年埋設内管(お客さま資産)対策の計画的な実施	鉄筋系集合建物等について、2015年(日本ガス協会目標)までの改修をめざし改善交渉を推進
(3)給排気設備の改善、安全型機器への取替促進	経済産業省指針およびガス事業関連法令の改正に則り、法定点検・安全周知の強化に努めるとともに、給排気設備の改善および安全型機器への取替活動を推進

## 経営効率化目標の達成状況について

HP

### 経営効率化目標について

当社は、2006年度から2008年度までの3カ年中期経営計画の策定時に、経営効率化目標を設定しました。この経営効率化目標は、原油価格の高止まりが継続するなか、2006年度以降さらなるコスト削減のための方策およびお客さまに安心してガスをご利用いただくための保安・サービ

スの向上のための施策等を織り込んだものです。

2006年度、2007年度とも経営効率化目標を達成しました。今後も「お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼に応える会社」をめざし、全力で取り組んでいきます。

### 設備投資の抑制

目標:各年度の内部調達額以内

	2006年度	2007年度
設備投資実績	48億円	36億円
目標(内部調達額)	73億円以内	74億円以内

内部調達額 = 当期純利益 + 減価償却費 - 配当

### 諸経費の抑制

目標:102億円(2005年度実績)以下

	2006年度	2007年度
諸経費実績	100億円	97億円
目標	102億円以下	

### 保安・サービスの向上

項目	取り組み内容(2006年度～2007年度)
(1)保安施策の推進	経年ガス導管(本支管)の計画的な改修の継続実施 お客さま先の経年埋設内管(白ガス管)の取替・改善促進活動を推進 給排気設備の改善・安全型機器への取替活動を推進
(2)お客さまサービスの向上	機器リース制度、クレジット払いの開始(2006年度実施済) コールセンターの本格稼働により、当全エリアの受付窓口を一本化し、ワンストップ対応を実現 モバイル機器の導入による開閉栓・修理業務の作業効率化 新料金周知等のお客さま訪問活動の拡充と、お客さまニーズに応じた家庭用選択約款の普及促進 <sup>*1</sup>
(3)環境問題への取り組み	環境行動指針・環境目標に沿った活動の展開 環境負荷低減に資する天然ガスの普及拡大、ガスコージェネレーションシステム等の高効率機器や天然ガス自動車の普及促進

\*1 目標:  
家庭用選択約款の新規契約を3,700件/年以上、普及率を毎年度1%以上向上

	2005年度	2006年度	2007年度
増加件数(件)	-	7,524	5,774
家庭用選択約款普及率	7.1%	9.1%	10.8%

## 業績概要(連結)

HP

### 原材料費および減価償却費の増加等により2期ぶりの減益

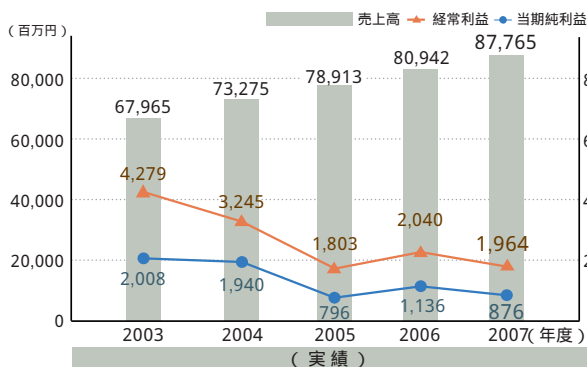
当期の売上高は、ガス事業およびLPG事業の売上高増加等により、前期に比べ6,823百万円増加(+8.4%)の87,765百万円となりました。

利益につきましては、原材料費および減価償却費の増加等により、営業利益が前期に比べ156百万円減少(9.1%)

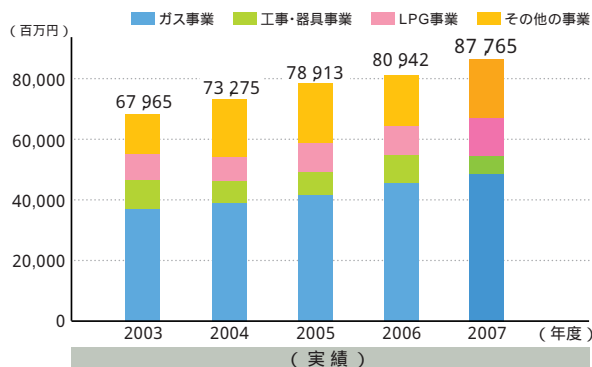
の1,565百万円、経常利益は前期に比べ75百万円減少(3.7%)の1,964百万円となりました。当期純利益は、前期に比べ259百万円減少(22.8%)の876百万円となりました。

### 収益性/成長性

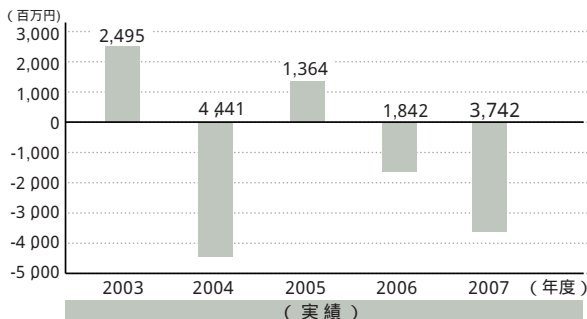
売上高および利益の推移



事業の種類別売上高の推移

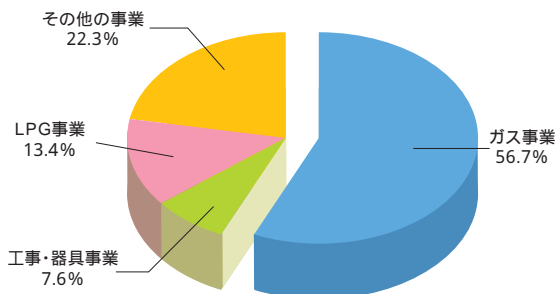


フリーキャッシュフローの推移



フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュフロー - (有形固定資産取得による支出額 + 無形固定資産取得による支出額)

事業の種類別売上高構成比(2007年度)



事業の種類別セグメント情報(2007年度)

	売上高	営業費用	営業利益
ガス事業	49,785 [+9.8%]	46,484 [+12.1%]	3,300 [14.7%]
工事・器具事業	6,903 [+1.8%]	6,816 [+3.3%]	87 [52.1%]
LPG事業	11,814 [+17.7%]	10,905 [+17.4%]	909 [+21.5%]
その他の事業	22,054 [+2.6%]	21,006 [+0.6%]	1,048 [+69.8%]
消去又は全社	(2,792) [+2.4%]	986 [+1.7%]	(3,779) [+2.2%]
連結	87,765 [+8.4%]	86,199 [+8.8%]	1,565 [9.1%]

各セグメントの数値は百万円未満を切り捨て、従って各項目の総額がセグメント毎の合計と一致しないことがあります。  
( )内は対前年比です。

### 収益性/成長性

#### 6期連続の増収、2期ぶりの減益

当期の売上高につきましては、主力のガス事業における、大口を中心とした既存のお客さまの販売量の増加や原料費調整制度適用に伴う販売単価の上昇、さらには、LPG事業における原料高騰に伴う販売単価上昇等があったため、前期に比べ8.4%増加しました(6期連続)。

また、当期の利益は、本ページ上部に記載のとおり原材料費および減価償却費の増加等があったため、2期ぶりの減益となりました。

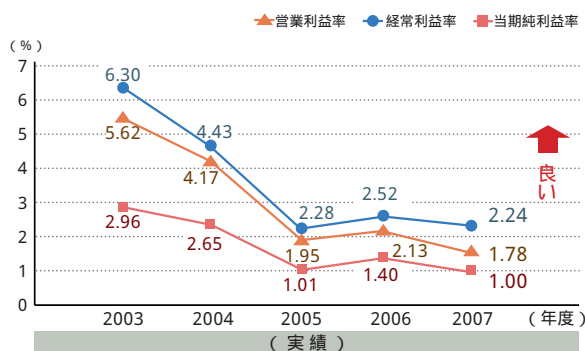
各区分に属する主要な製品の名称

P.9

- ガス事業/ガス導管を通じて供給する都市ガスおよび簡易ガス・他ガス事業者等への卸供給
- 工事・器具事業/工事: お客さまガス設備 器具: 給湯器、ガスコンロ等ガス器具
- LPG事業/ボタンおよびプロパン
- その他の事業/ガスボンベ充填、プロパン容器検査、検針・保安業務受託、労働者派遣業務、建設工事、住宅関連機器他

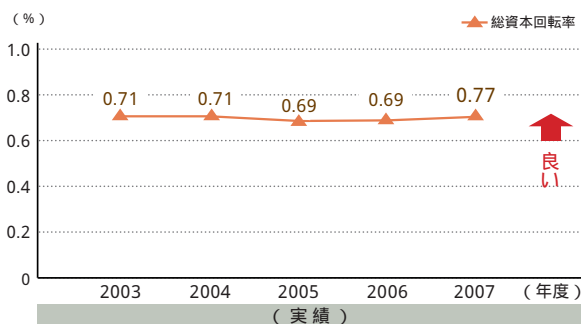
## 効率性

営業利益率・経常利益率・当期純利益率の推移



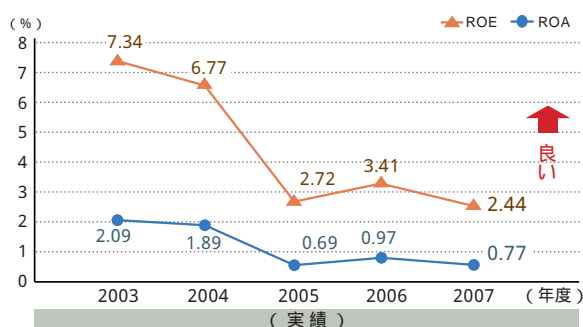
営業利益率(%) = 営業利益 ÷ 売上高 × 100  
 経常利益率(%) = 経常利益 ÷ 売上高 × 100  
 当期純利益率(%) = 当期純利益 ÷ 売上高 × 100

総資本回転率の推移



総資本回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)

ROAおよびROEの推移



ROA = 当期純利益 ÷ 総資産(期中平均) × 100(%)  
 ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100(%)

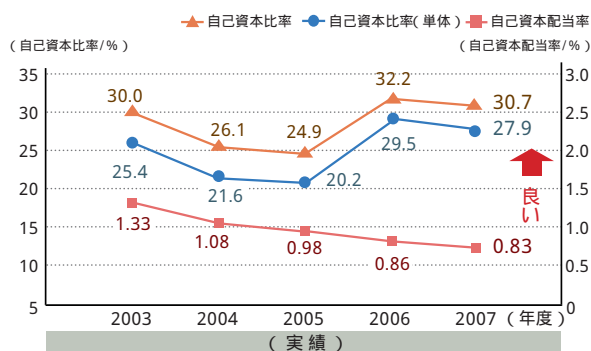
## 効率性

ROE5%をめざします

当社は、他燃料との競争力を高め収益力向上を図り、企業価値の増大を図るため経営指標として「ROE」(自己資本当期純利益率)を設定、目標を5%にしています。当期は、原材料費の増加等により2年ぶりの減益となり、ROEは対前期比で0.97ポイント減少の2.44%となりました。2008年度以降につきましても、原料価格等の影響が予想されますが、さらなる経営効率化を推進し、収益性を高めることによってROE5%以上をめざしています。

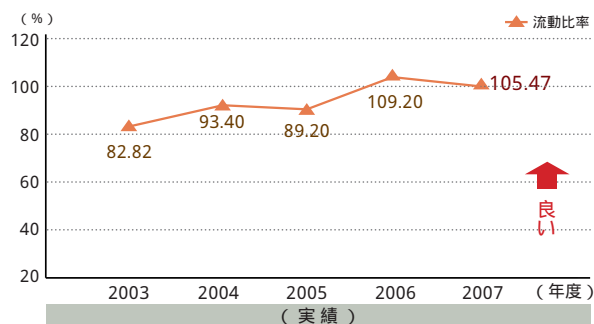
## 健全性

自己資本比率・自己資本配当率の推移



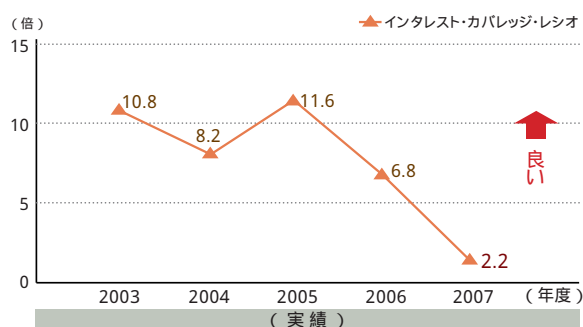
自己資本比率(%) = 自己資本 ÷ 総資産 × 100  
 自己資本配当率(%) = 年間配当総額 ÷ 自己資本 × 100

流動比率の推移



流動比率(%) = 流動資産 ÷ 流動負債

インタレスト・カバレッジ・レシオの推移



インタレスト・カバレッジ・レシオ = キャッシュフロー ÷ 利払い  
 (金融費用の支払い能力における安全性を示す指標)

## 健全性

効率的な投資、資産圧縮による財務体質の健全化に努めます

当期末の総資産は、流動資産の増加はあったものの、減価償却の進捗による有形固定資産の減少等により、前期末に比べ964百万円減少(0.8%)の113,579百万円となりました。

負債につきましては、コマーシャル・ペーパーの増加等があり、前期末に比べ672百万円増加(+0.9%)の77,249百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金および繰延ヘッジ損益の減少等により、前期末に比べ1,636百万円減少(4.3%)の36,330百万円となりました。

この結果、当期末の自己資本比率は30.7%となりました。

## 業績概要(単体)



### 9期連続の増収、2期ぶりの減益

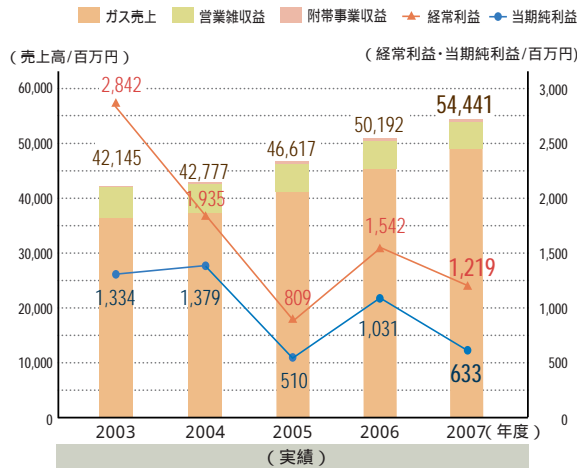
当期の売上高は、卸供給や大口用のお客さまにおけるガス販売量の増加および原料費調整制度適用に伴う販売単価の上昇により、前期に比べ4,249百万円増加(+8.5%)の54,441百万円となりました。

利益につきましては、ガス売上の増加および経営全般にわたる徹底した合理化・効率化を実施しましたものの、原

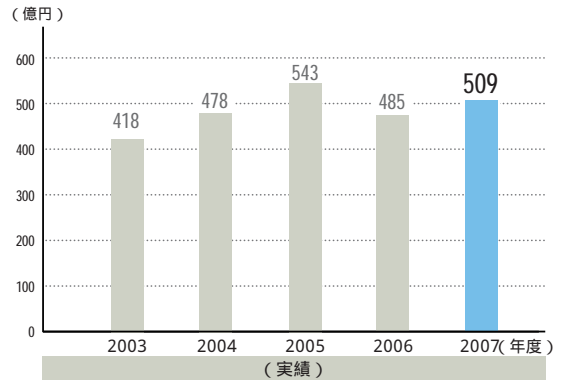
材料費や減価償却費の増加等により、経常利益が前期に比べ322百万円減少(20.9%)の1,219百万円となりました。また、当期純利益は、前期に比べ398百万円減少(38.6%)の633百万円となりました。

### 決算概要

総売上高および利益の推移



有利子負債残高の推移



### 事業概要

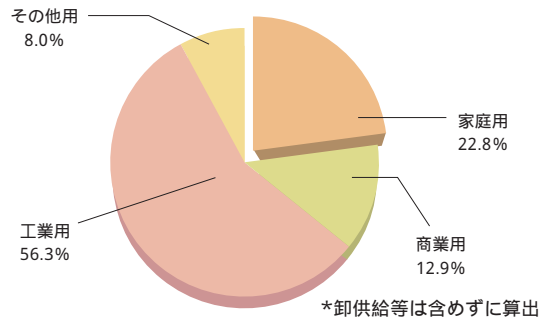
ガス販売量の推移と平均伸び率

(単位:千m<sup>3</sup>, 46.04655MJ/m<sup>3</sup>換算)

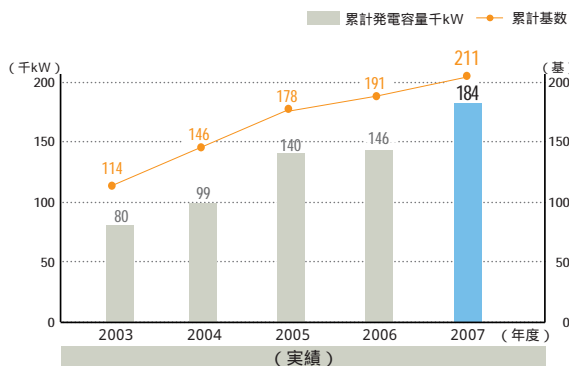
	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	平均伸び率
家庭用	109,411	106,903	109,508	109,732	107,391	0.5%
商業用	54,337	58,547	60,683	60,393	60,894	2.9%
工業用	141,477	174,176	210,757	242,579	264,963	17.0%
その他用	30,865	34,349	36,954	36,646	37,401	4.9%
計	336,091	373,978	417,903	449,352	470,651	8.8%
卸供給等	-	-	-	3,767	31,102	725.6%
総計	336,091	373,978	417,903	453,119	501,753	10.5%

端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

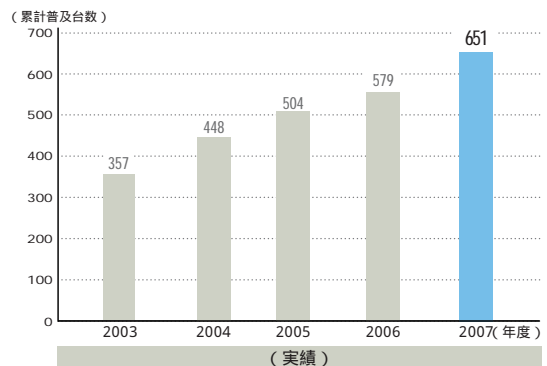
ガス販売量構成比(2007年度)



ガスコージェネレーションシステム導入の推移(業務用)



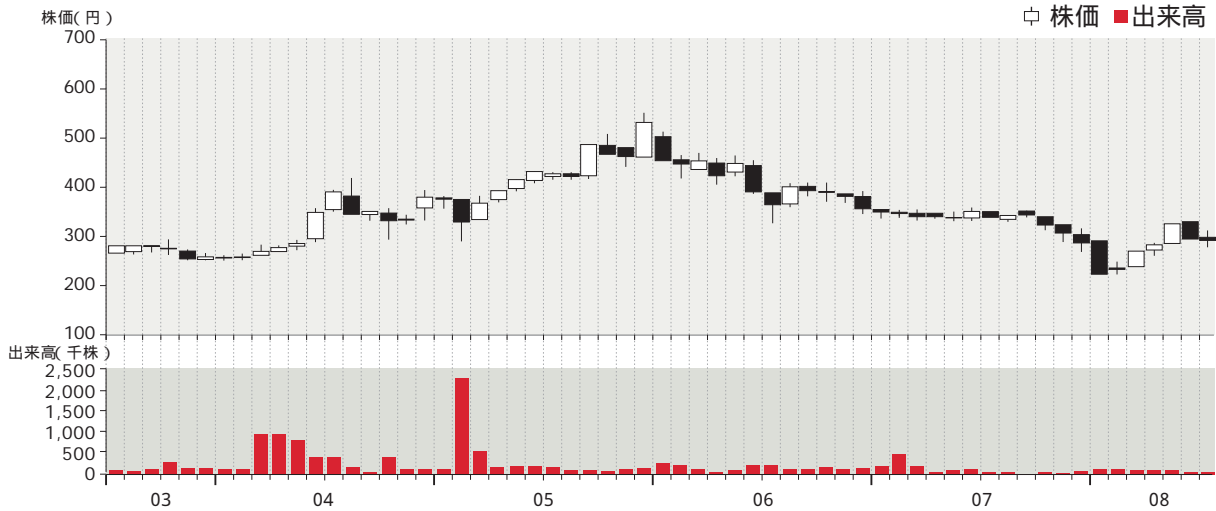
天然ガス自動車の累計普及台数(広島ガス供給エリア内)



# 投資情報



株価・出来高の推移 9535広島ガス



< 出所:東京証券取引所より野村證券投資情報部作成 >

## 配当金について

当期(2007年度)の期末配当金につきましては、1株あたり2円50銭の普通配当を実施し、中間配当金と合わせて5円の年間配当を実施しました。

2008年度につきましても、安定配当維持を基本方針として、1株あたり年間5円の普通配当を継続する予定です。

## 関連株式指標

1株当たりの指標(連結)の推移

(単位:円)

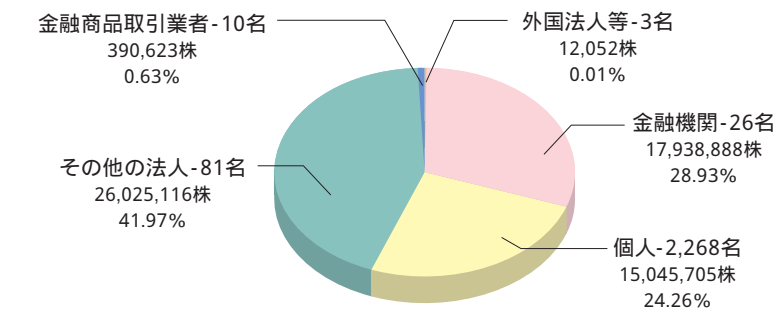
	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
1株当たり当期純利益	31.29	31.10	12.46	19.55	14.77
1株当たりキャッシュフロー	150.50	155.93	139.49	140.90	145.86
1株当たり純資産	458.59	500.72	518.75	622.27	593.67
1株当たり配当金	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当性向	16.0%	16.1%	40.1%	25.6%	33.9%

大株主の状況(2008年3月末現在)

	氏名または名称	持株数(千株)	出資比率(%)
1	岩谷産業株式会社	7,607	12.80
2	明治安田生命保険相互会社	3,855	6.48
3	三菱商事株式会社	2,991	5.03
4	日本生命保険相互会社	2,970	4.99
5	株式会社広島銀行	2,840	4.78
6	第一生命保険相互会社	2,540	4.27
7	米田 正幸	1,952	3.28
8	広島電鉄株式会社	1,860	3.13
9	西部瓦斯株式会社	1,420	2.39
10	双日株式会社	1,350	2.27

持株数は千株未満切り捨て  
出資比率は自己株式を控除して計算し、小数第2位未満切り捨て

株主の状況



自己名義株式 2,583,206株 4.16%

# 環境分野

クリーンエネルギー天然ガスを基軸として  
環境保全を推進してまいります。

## クリーンエネルギー天然ガス

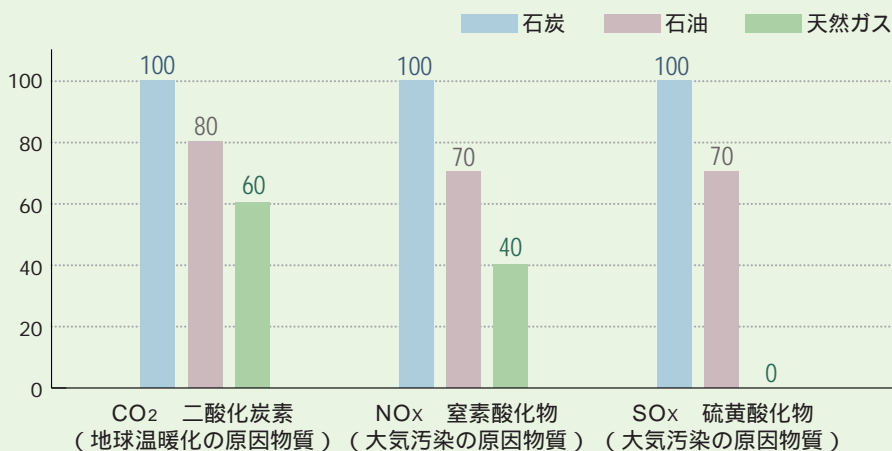
広島ガスは、天然ガスを主原料に都市ガスを製造しています。  
この天然ガスは、インドネシアおよびマレーシアで採掘・精製・液化されLNG(液化天然ガス)として専用タンカーにより受け入れ基地である廿日市工場へ運ばれます。  
このLNGを原料に都市ガスを製造し、導管を通じてお客さまへお届けし、ご使用いただいています。

## 新時代の理想的な 都市エネルギー「天然ガス」

地球にやさしく安定供給できる天然ガスを提供しています。

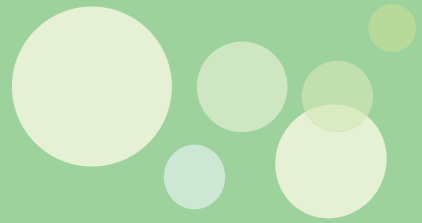
天然ガスは、炭素含有量の少ないメタンが主成分で、化石燃料のなかで燃焼時の地球温暖化や大気汚染の原因物質の発生量が最も少ないクリーンエネルギーです。

天然ガスのクリーン性 石炭を100とした場合の発生量比較(燃焼時)



<資料: Natural Gas Prospects (2010)1986 IEA(国際エネルギー機関)  
: 火力発電所大気影響評価技術実証 調査報告書 1990.3 エネルギー総合工学研究所 >





2005年2月16日に正式発効した京都議定書。  
 2008年度からは、わが国の削減目標6%達成に向けた約束期間に入りました。  
 京都議定書の意義は、地球温暖化を防止し、環境と共存しながら持続的に発展可能な社会を築くことにあります。  
 そのため、人類すべてが環境問題と真剣に向き合うことが求められているのです。  
 環境分野は、事業活動によって生じる環境負荷をいかにして軽減し、循環型社会に転換させていくために、  
 どのような行動を起こし、成果を上げているかを開示するものです。

## 天然ガスを主原料に都市ガスを製造

天然ガスは、工場でLNGを気化した後、  
 熱量を調整しガス臭を付け都市ガスとして供給します。



都市ガスの性状 成分およびその含有量(広島ガスにおける天然ガス供給区域)

成 分		組 織
名 称	化学式	体積%
メ タ ン	CH <sub>4</sub>	89
エ タ ン	C <sub>2</sub> H <sub>6</sub>	5
プロパン	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub>	4
ブ タ ン	C <sub>4</sub> H <sub>10</sub>	2

(注)ガス組成は代表値を示す。

ガス種 13A  
 標準熱量 46.04655MJ/m<sup>3</sup>N  
 (11,000kcal/m<sup>3</sup>N)  
 比重(空気=1) 0.655  
 CO<sub>2</sub>排出係数 2.36kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>N

化石燃料の温室効果ガス排出量の比較 [ライフサイクルアセスメント(LCA)<sup>1</sup>]  
 単位(g-CO<sub>2</sub>/MJ)

区 分	石 炭	石 油	L N G
生 産	4.58	4.06	9.17
輸 送	1.71	0.79	1.97
設 備	0.11	0.08	0.04
燃 焼	88.53	68.33	49.40
合 計	94.93	73.26	60.58
指 数 <sup>2</sup>	100	77	64

<資料:「LNGおよび都市ガス13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の将来予測」  
 「エネルギー・資源」Vol.28 No.2(2007)>

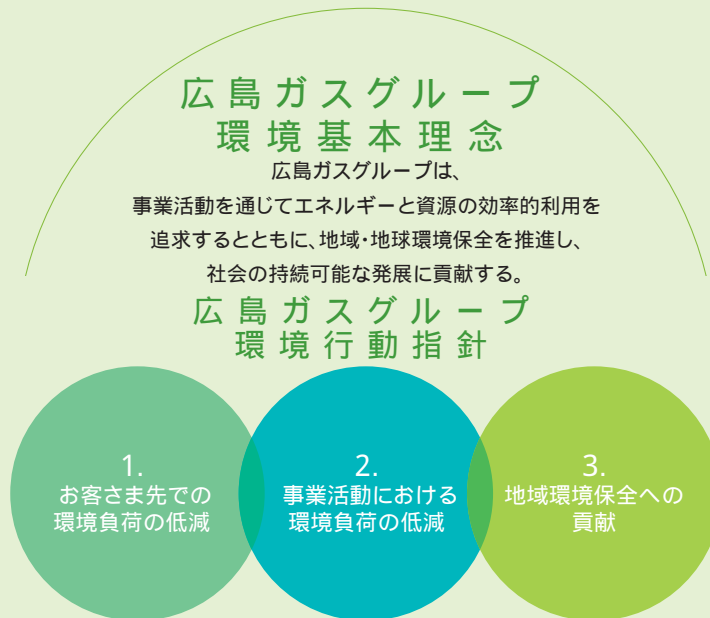
- 1 LCA手法で化石燃料の採掘から燃焼までの温室効果ガス排出量をCO<sub>2</sub>換算し総発熱量ベースで算出
- 2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比

### ライフサイクルアセスメント(LCA)

原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法

## 環境保全活動の基本的な考え方・しくみ

広島ガスは、1993年度に環境基本理念および環境行動指針を策定し、環境マネジメントシステム(EMS)により全社で環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループで推進することにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。



### 廿日市工場・備後工場 ISO14001活用

廿日市工場および備後工場は、環境マネジメントシステムの一環として1999年ISO14001の認証を取得(審査登録機関:(財)日本ガス機器検査協会JIA-QAセンター)後、2005年度にはISO14001-2004年度版への移行を完了しました。



ISO14001登録証

### 廿日市工場・備後工場 環境方針

広島ガス株式会社 廿日市工場・備後工場(以下「当工場」という。)は、地球環境にやさしい天然ガスを主原料にクリーンなエネルギー都市ガスを製造し、さらに廿日市工場においては都市ガスを使用した発電および送電を行っており、この都市ガスの安定供給および発電を通して地球環境保全へ貢献している。

当工場は、環境負荷も低く設定されており、都市ガスの製造工程における燃料と電力使用量の少ない操業、発電工程における排熱の有効活用等により効率的なエネルギーの利用を行っているが、さらなる環境保全への貢献を図るため、広島ガスグループ環境基本理念をふまえ、環境行動指針を次のように定める。

#### 環境行動指針

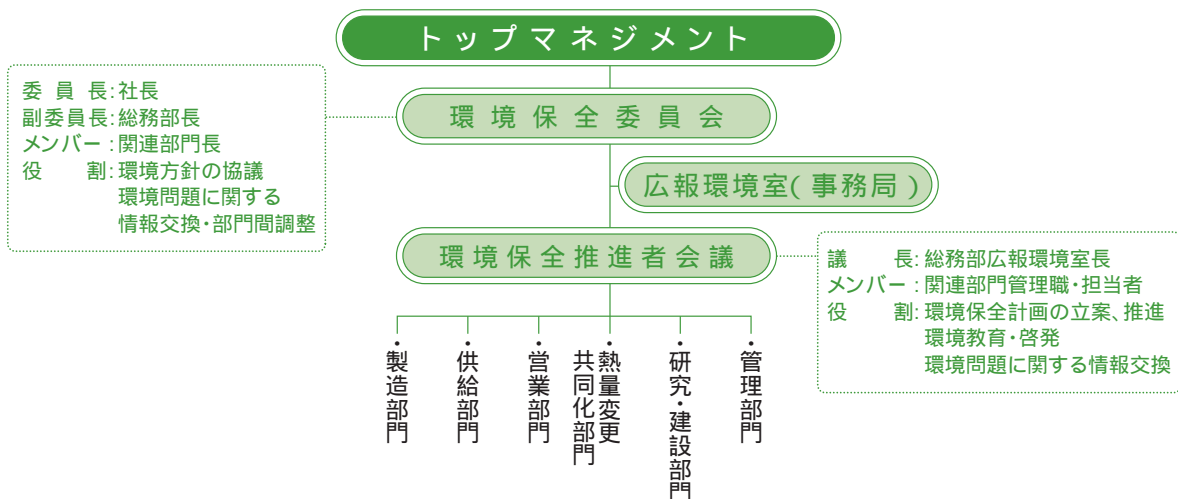
当工場で行う事業活動が環境に与える影響を把握し、ISO14001の要求項目に沿って環境目的・目標・プログラムを定め、定期的な見直しを行うとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。

1.以下の項目について積極的に活動し、環境保全と汚染防止に努める。

- 都市ガスの品質および安定供給を確保する。
- 省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷の低減に努める。
- 地域環境保全に貢献する。

2.当工場の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項および当工場が同意するその他の要求事項を順守する。

## 環境活動推進体制



## 環境マネジメントシステムの運用

PDCAサイクルに沿って環境保全活動をきめ細かく推進しています。

当社の環境マネジメントシステムは、従来から運用しているTQM(総合的品質経営)をベースに、環境保全活動をPDCAサイクルに沿って推進しています。環境保全活動を含めた中期経営計画の策定(P)、各部門改善活動の実施(D)、環境保全委員会等でチェック(C)、トップヒアリングでの見直し(A)等により、継続的なレベルアップをめざしています。



## 環境目標および実績

### 環境行動指針

#### 1. お客さま先での環境負荷の低減

広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努める。



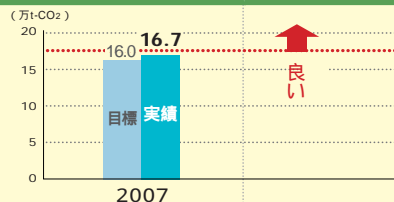
### 広島ガス長期環境目標

お客さま先でのCO<sub>2</sub>排出量を、2010年度に18万t-CO<sub>2</sub>以上抑制する。

### 広島ガス中期環境目標

2007年度目標・実績

2008年度

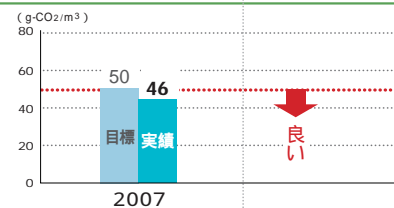


#### 2. 事業活動における環境負荷の低減

広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物等の発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進する。



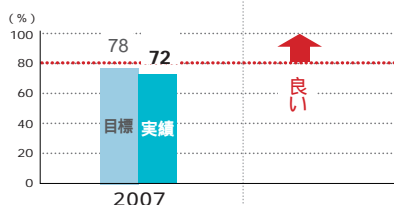
当社事業活動(都市ガス製造時)におけるCO<sub>2</sub>排出原単位を、2010年度に50g-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>(販売ガス量)以下にする。



事務所(オフィス)におけるCO<sub>2</sub>排出量を、各年55t-CO<sub>2</sub>削減する。



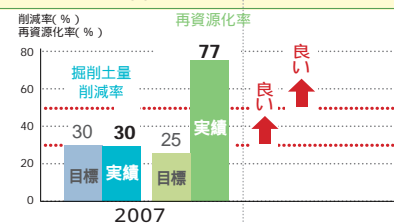
低公害車(天然ガス自動車・燃料電池自動車等)を、2010年度に当社全車両に導入する。



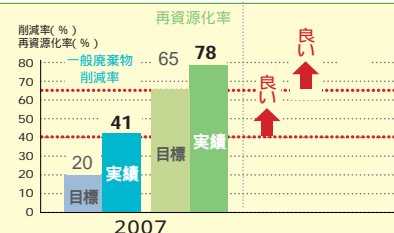
産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2010年度に1t以下にする。



ガス導管工事から発生する掘削土量を、2010年度に従来工法に比べ35%以上削減し、再資源化率を70%以上にする。



2010年度に一般廃棄物の発生を、2001年度に対し50%以上削減し、再資源化率を65%以上にする。



#### 3. 地域環境保全への貢献

広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に、積極的に取り組む。



各事業所において、地域と一体となった環境保全活動を実践する。

目標を達成した項目のマークです。

環境保全活動を効果的に推進するために2002年度、環境行動指針に対応した広島ガス長期環境目標および3年間の中期環境目標を設定し活動を進めてきました。  
 “事務所(オフィス)におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減する新たな目標”の追加を含め、2008年度以降を見直した新中期環境目標を2007年度に設定しています。(新たに追加した目標)

目標	2009年度目標	2010年度目標(中期目標)	広島ガス中長期推進施策
<p>17.8 目標</p> <p>18.0 目標</p> <p>18.0 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>18万t-CO<sub>2</sub>以上抑制</b></p>			<p><b>1.天然ガスの普及促進と環境特性に優れたシステム・機器の普及による環境負荷の低減</b></p> <p>(1)天然ガスの普及促進と高効率利用の提案                      (2)低NOx機器の普及促進                      (3)天然ガス自動車の普及促進</p> <p><b>2.資源の再生利用促進</b></p> <p>(1)使用済みガス機器の回収・再資源化の促進                      (2)エコデザインガス機器の導入促進</p> <p><b>3.その他お客さま先での環境負荷低減に関する事項</b></p>
<p>50 目標</p> <p>50 目標</p> <p>50 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>50g-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>(販売ガス量)以下</b></p>			<p><b>1.エネルギーの有効利用による環境負荷の低減</b></p> <p>(1)製造所におけるエネルギー有効利用への取り組み                      (2)事業所におけるエネルギー有効利用への取り組み                      (3)当社車両への天然ガス自動車の導入促進</p>
<p>55 目標</p> <p>55 目標</p> <p>55 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>55t-CO<sub>2</sub>以上削減</b></p>			<p><b>2.資源消費の低減と廃棄物排出の最小化</b></p> <p>(1)産業廃棄物の発生抑制と再資源化                      (2)一般廃棄物の発生抑制と再資源化                      (3)紙の使用量削減と再生利用の促進                      (4)ガス工事における排出物の削減と再生利用の促進                      (5)グリーン購入の促進</p>
<p>80 目標</p> <p>95 目標</p> <p>100 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>当社全車両に導入</b></p>			<p><b>3.環境マネジメントの充実</b></p> <p>(1)社内における環境啓発活動の充実</p>
<p>1 目標</p> <p>1 目標</p> <p>1 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>1t以下</b></p>			<p><b>4.その他事業活動における環境負荷低減に関する事項</b></p>
<p>30 目標</p> <p>50 目標</p> <p>30 目標</p> <p>60 目標</p> <p>35 目標</p> <p>70 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>掘削土量削減率 35%以上</b></p> <p><b>再資源化率 70%以上</b></p>			<p><b>1.地域の環境保全活動への参画</b></p> <p>(1)地域環境保全活動への参加                      (2)各種フェア等への出展による啓発活動の推進                      (3)環境保全推進団体への参画                      (4)熱量変更作業共同化の推進</p> <p><b>2.その他地域環境保全への貢献に関する事項</b></p>
<p>40 目標</p> <p>65 目標</p> <p>45 目標</p> <p>65 目標</p> <p>50 目標</p> <p>65 目標</p> <p>2008 2009 2010 (年度)</p> <p><b>一般廃棄物削減率 50%以上</b></p> <p><b>再資源化率 65%以上</b></p>			

## 事業活動における環境負荷（2007年度実績）

2007年度の広島ガスの事業活動における主な環境負荷についてまとめました。

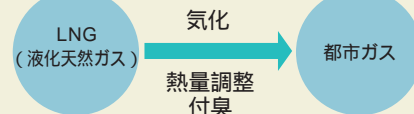
### INPUT

ユーティリティ (製造)	都市ガス 6,917千m <sup>3</sup>	電力 4,399千kWh	水 16.4千m <sup>3</sup>
-----------------	------------------------------	-----------------	--------------------------

### 広島ガスの事業活動



### 製造



### OUTPUT

採掘・液化・輸送時	CO <sub>2</sub> 232千t
-----------	--------------------------

CO <sub>2</sub> (製造所)21.5千t (オフィス)3.1千t	一般廃棄物 98.4t	産業廃棄物 (製造所) 3.6t (事業所) 141.9t	掘削土 89.9千t	PE管 8.6t
---	----------------	-------------------------------------	---------------	-------------

### 再資源化

一般廃棄物 76.4t	産業廃棄物 (製造所) 3.3t (事業所) 137.4t	掘削土 69.2千t	PE管 8.5t
----------------	-------------------------------------	---------------	-------------

都市ガスを製造・供給するために、主原料としてLNGおよび熱量調整用のLPG、ユーティリティとして都市ガス・電力・水など、ガス導管としてPE管、鋼管などを使用しています。

エネルギーの使用によりCO<sub>2</sub>が発生しますが、クリーンエネルギー天然ガスの優れた特長を活かし、他燃料から天然ガスへの転換、ガスコージェネレーションシステムおよび高効率ガス機器の普及等を推進することで、環境保全に貢献しています。



導管(パイプライン) 総延長4,801km



ガス販売量 5億1百万立方メートル

都市ガスの貯蔵



ガスホルダー

導管工事



導管埋設工事

圧力等遠隔監視制御



中央監視制御室(本社)

都市ガスの供給



ガス管橋

商業用・公用(ホテル・ビル・学校等)



厨房、給湯、空調等

工業用(工場等)



ガスコージェネレーションシステム、加熱、空調等

家庭用(給湯・空調等)



厨房、給湯、空調等

天然ガス自動車

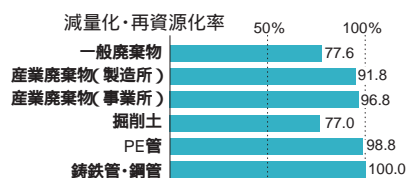


バス、トラック、乗用車、ゴミ収集車等

铸铁管・鋼管 132.2t

お客さま先 CO<sub>2</sub> 1,185千t

铸铁管・鋼管 132.2t



環境保全活動におけるお取引先との関係

廿日市場・備後工場においては、LNG船、LNGローリー等の役務提供者および購買先に対して、環境保全活動(サプライチェーン・マネジメント等)への協力を依頼しています。

環境保全に関する覚書  
環境管理活動への協力依頼文書  
安全環境教育  
協力依頼カード

## 環境会計

広島ガスでは環境マネジメントの一環として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を可能な限り定量的に把握する環境会計の取り組みを1999年に廿日市工場で開始し、2002年度から全社へ拡大し集計しています。環境に係るコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて 2000年報告」をベースにした(社)日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き 2000年度版」に基づき集計しました。

### 環境保全コストについて

「投資額」と「費用額」に分類して集計しています。

環境保全コストは、環境への負荷を低減させること等を目的とした「投資額」と「費用額」としました。

都市ガス事業における「保安」や「安全」活動や「営業」に関わるコストは、環境負荷の低減につながる側面もありますが、活動自体が事業の根幹に関わるものであり、環境保全コストとしていません。

### 効果算定について

「環境保全効果」と「経済効果」に分けています。

効果は、環境負荷自体を低減させる物量効果(=環境保全効果)と、企業損益を経済的に向上させる効果(=経済効果)に分けています。

環境保全効果は、設備の稼働状況等により変動する可能性が高いので、「原単位方式」による公表を基本としました。

経済効果は、明確に算定できる効果とし、リスク回避等、推定や仮定を要す「みなし効果」は検討段階にあることから算定していません。

### 2007年度集計結果

#### 環境保全コスト

(単位:百万円)

環境保全コスト項目			投資額		費用額	
主な内容(例)			2006年度	2007年度	2006年度	2007年度
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音等の防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等	2	0	8	7
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オゾン層保護等のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等(主要内容:廿日市工場コージェネレーション稼働)	3	5	41	37
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理等のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等	0	0	79	61
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、EMS構築、環境対策組織等のコスト	0	0	22	24
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化等(主要内容:旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	0	0	87	67
お客さま先	環境R&D	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト	12	11	45	41
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表等	0	0	25	23	
合 計			17	16	310	262

2007年度費用額のうち減価償却費は、137百万円計上されています。環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものです。

算定期間：2007年4月～2008年3月 算定範囲：広島ガス株式会社

自社業務の資源循環における費用は、ガス導管工事で排出されるアスファルト、コンクリートのリサイクル費用の縮小により減少しました。

自社業務のその他における費用は、旧海田工場の土壌浄化設備の償却が進み減少しました。



効果

環境負荷水準

環境負荷水準	2006年度	2007年度
NOx原単位(製造) (mg/m <sup>3</sup> )	51	46
CO <sub>2</sub> 原単位(製造) (g-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	45	46
CO <sub>2</sub> 原単位(オフィス) (g-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	6	6
掘削発生土外部排出量 (千t)	81	21
産業廃棄物発生量 (t)	176	145
一般廃棄物発生量 (t)	96	98
(参考値) お客さま先でのCO <sub>2</sub> 抑制量 (千t-CO <sub>2</sub> )	147	167

企業内経済効果

(単位:百万円)

経済効果	2006年度	2007年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	139	162
有価物の売却額	0	0
その他 (燃料ガス使用量削減による経費削減額)	144	130
その他 (電力使用量削減による経費削減額)	0	0
合計	283	292

全社設備投資額における環境設備投資額比率

	2006年度	2007年度
全社設備投資額(百万円)	4,873	3,569
環境設備投資額比率(%)	0.4	0.5

全社総売上高における環境費用額比率

	2006年度	2007年度
全社総売上高(百万円)	50,192	54,441
環境費用額比率(%)	0.6	0.5

ガス導管工事で排出された土砂の再資源化方法を改善することで“掘削発生土の外部排出量”が大幅に減少し、“経費削減額”も大幅に増加しました。

一般廃棄物の発生量は微増となりましたが、産業廃棄物の発生量は、約2割減少しました。

環境効率について

当社は、環境保全活動の取り組みの評価の一つとして、企業活動と環境保全がバランスし両立している状況を把握する指標である環境効率を採用しています。一般的に“経営指標等を環境負荷総量で割った数値”で表しますが、

当社は「ガス販売量」を「CO<sub>2</sub>発生量」で割った値としています。

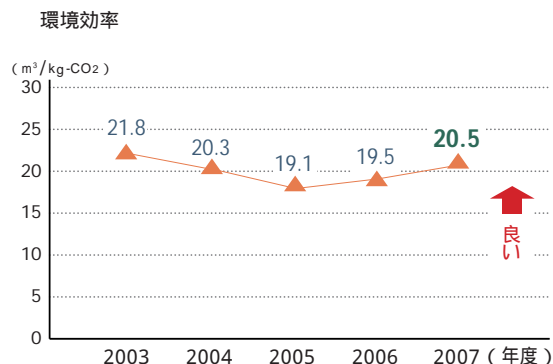
2007年度の環境効率は、対前年4.9%向上しており、環境への取り組みが進んでいると評価できます。

$$\text{環境効率} = \frac{\text{ガス販売量}}{\text{CO}_2\text{発生量(製造+オフィス)}}$$

環境効率試算結果

項目	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
ガス販売量 (百万m <sup>3</sup> )	373	417	453	501
CO <sub>2</sub> 発生量(製造) (千t-CO <sub>2</sub> )	16	19	20	21
CO <sub>2</sub> 発生量(オフィス)(千t-CO <sub>2</sub> )	2	3	3	3
環境効率 (m <sup>3</sup> /kg-CO <sub>2</sub> )	20.3	19.1	19.5	20.5

2004年度より天然ガスを燃料としたガスコージェネレーションシステムを稼働しましたが、経営指標をガス販売量に限定しているため、電力発電(売電用)に伴い発生するCO<sub>2</sub>量は除いています。

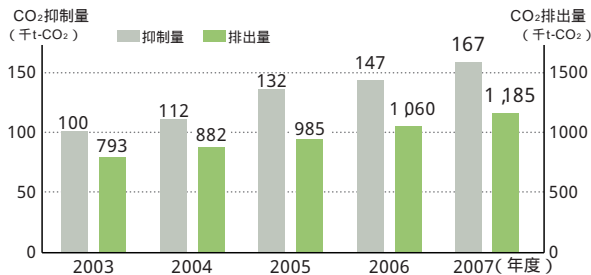


## お客さま先での環境負荷の低減

### 天然ガスの普及促進によるCO<sub>2</sub>発生抑制

天然ガスおよび高効率ガス機器の普及等によりCO<sub>2</sub>発生量の抑制に貢献しています。

お客さま先でのCO<sub>2</sub>排出量・抑制量



### 環境関連新技術の研究開発

P.10

技術研究所では、環境に優しい天然ガスの普及により、人と環境とエネルギーの調和した快適な暮らしをお客さまにご提案するため、エネルギー高効率利用および再生可能エネルギーの利活用等に依る技術開発を積極的に進めています。



工業用高効率省エネバーナの開発 (2008年(社)日本ガス協会技術賞受賞)

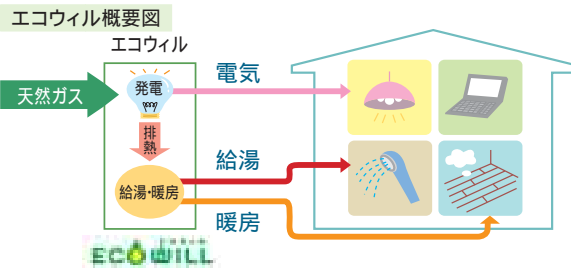


バイオガス専燃コージェネレーションシステムの開発 (ロータリーエンジン)

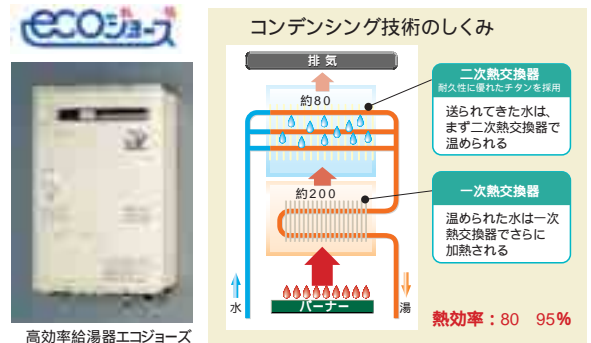
### 天然ガス高効率利用の推進

#### 家庭用高効率機器の普及

家庭用ガスコージェネレーションシステム「エコウィル」(2007年度販売台数343台・累計)



高効率給湯器エコジョーズ(2007年度販売台数3,379台・累計)

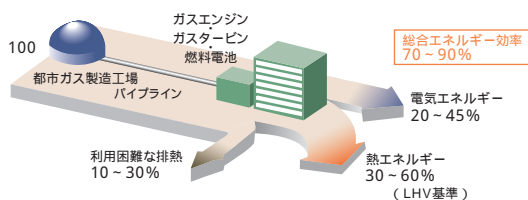


環境性に優れたガス機器の普及支援

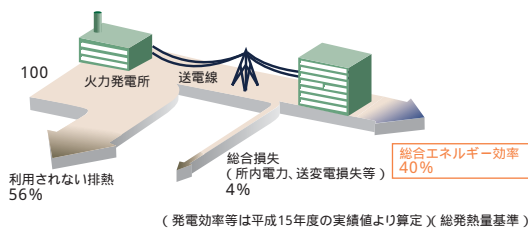
環境負荷の低いガス機器を普及しCO<sub>2</sub>等環境負荷軽減を推進していくため、省エネ性・安全性・経済性に優れたガス機器を設置される住宅を新築・増改築されるお客さまを対象に、ローン金利の優遇サービスを2005年6月より実施しています。

### 業務用高効率設備・機器の普及

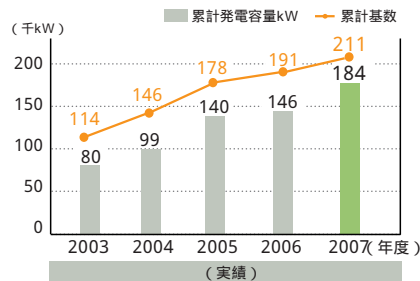
#### ガスコージェネレーションシステム



#### 従来方式による発電システム



#### ガスコージェネレーションシステム普及の推移(業務用)



尾道市民病院

#### ガスコージェネレーションシステム

都市ガスを燃料としてガスタービンやガスエンジン・燃料電池などで発電を行い、その時に発生する排熱を有効利用し、冷暖房・給湯等を行うシステムです。投入したエネルギーをムダなく使うことができるため、省エネルギー効果が大きく、CO<sub>2</sub>発生量の抑制にも効果があります。

#### その他環境特性に優れた設備・機器の普及

- 低NOx機器の普及
- ガス吸収式冷温水機によるオゾン層の保護
- エコデザイン機器の普及

## 天然ガス自動車の普及促進



天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘されている黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫酸化物を排出せず、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>もガソリン車に比べて低く抑えることができます。

### 街で活躍する天然ガス自動車



路線バス



トラック



ロゴマーク

### エコ・ステーションおよび天然ガススタンドマップ

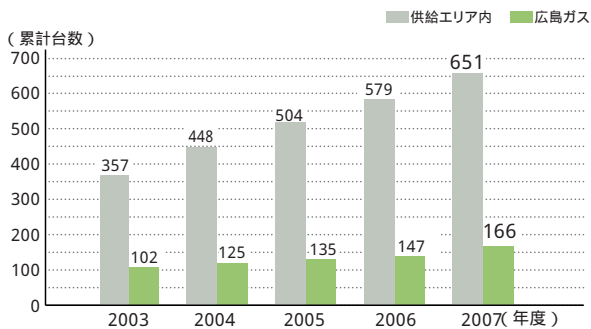


#### エコ・ステーション

天然ガスは、天然ガススタンド(急速充填所)や昇圧供給装置(小型充填機)で自動車へ充填できます。ガソリンスタンドやLPGスタンドに低公害車(天然ガス自動車等)への燃料供給設備を併設するものをエコ・ステーションといいます。

## 天然ガス自動車の普及状況

### 天然ガス自動車の累計普及台数推移(広島ガス供給エリア内)



### 全国の天然ガス自動車および天然ガススタンドの普及状況 (2008年3月末現在)

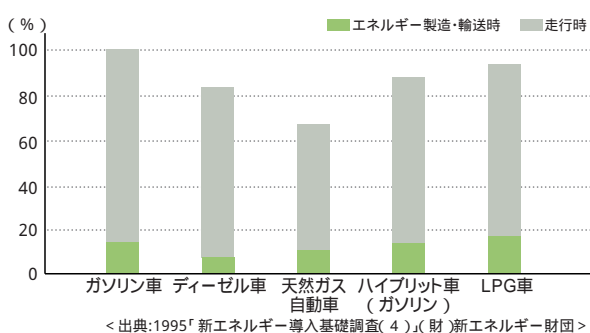
天然ガス自動車数	全国	34,203台
	広島地区	651台(内数)
天然ガススタンド(急速充填所)	全国	327カ所
	広島地区	9カ所(内数)

### 当社供給エリア内天然ガス自動車普及状況 (2008年3月末現在)

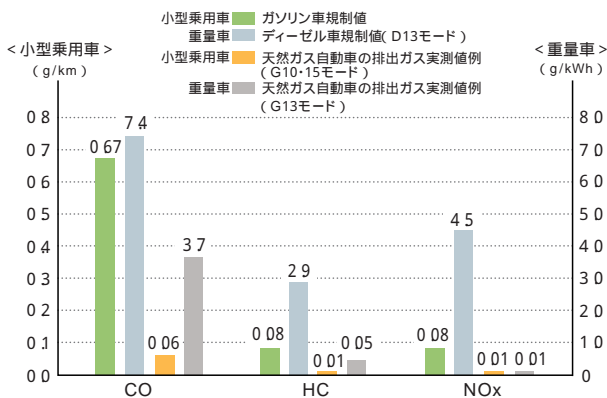
区分	台数
官公庁	76
民間事業者(トラック・バス)	281
民間事業者(乗用車)	128
広島ガス	166
計	651

## 天然ガス自動車のクリーン性

### CO<sub>2</sub>発生量比較(ガソリン車を100とした場合)



### 排気ガス性状比較



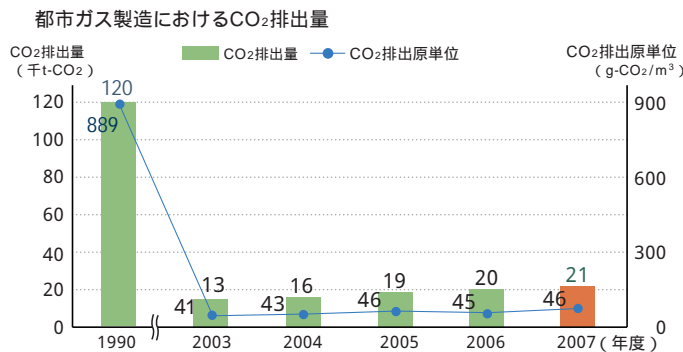
## 事業活動における環境負荷の低減

### 製造所におけるエネルギー有効利用

2004年9月、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、発電した電力を廿日市工場で使用するとともに、約10千kWの余剰電力はPPS(特定規模電気事業者)等に卸売供給をしています。また、排熱はLNG気化用熱源としての活用により燃料が削減できると同時にCO<sub>2</sub>も削減する等、エネルギー有効利用とCO<sub>2</sub>排出量の抑制が一層進んでいます。2007年度のCO<sub>2</sub>発生量は、天然ガス転換による効果と合わせて、1990年度に比べ9万9千t、82%削減できました。



廿日市工場ガスコージェネレーションシステム



#### 廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- ・発電容量 11,000kW(高効率天然ガスエンジン5,500kW×2基)
- ・送電容量 最大10,000kW(特別高圧22kV)
- ・総合効率 約78%(発電効率42%、熱回収効率36%)
- ・運転形態 DSS(Daily Start & Stop)運転(昼間運転)

PPS(特定規模電気事業者)

電力の自由化対象のお客さまに対し、電力会社の送電線等を通じて電力の小売を行う新規参入者

### 事業所におけるエネルギー有効利用

#### エコオフィス活動

事務所におけるCO<sub>2</sub>排出抑制、廃棄物の削減等を推進しています。

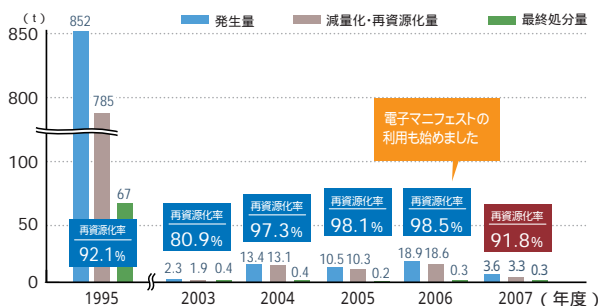
##### エコオフィス活動

- ① エネルギーの有効利用：電気の節約、水の節約、車両燃費の向上
- ② 資源消費の低減：紙の使用削減と再資源化、グリーン購入の促進  
ノーマーカーデー運動への参加  
(広島市マイカー乗るまあデーなど外部主催分)  
クールビズ・ウォームビズの実施  
マイ箸・マイカップ
- ③ 廃棄物の発生抑制と適正処理：分別強化、リサイクル推進

#### 産業廃棄物の削減と再資源化

原料を天然ガスに転換したことにより、製造所からの産業廃棄物排出量は激減しました。

##### 産業廃棄物(製造所)の減量化・再資源化

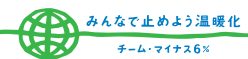


廃蛍光管を再資源化しリサイクル蛍光管として再利用。  
お客さまから回収した使用済みガス機器の再資源化。  
電子マニフェスト採用(2007.3~)

#### 「チーム・マイナス6%」への参加



地球温暖化防止に取り組む国民運動「チーム・マイナス6%」への参加登録を行い、当社の環境保全活動とあわせて「CO<sub>2</sub>削減のための広島ガスのアクション」を、社員の家族も含め実施しています。

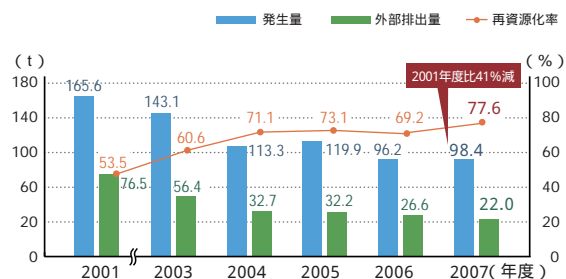


クールビズ

#### 一般廃棄物の削減と再資源化

当社では、エコオフィス活動による一般廃棄物の削減と再資源化を推進し、発生量は年々低減しています。

##### 一般廃棄物の発生量と外部排出量



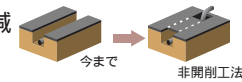
すべての紙ごみ(機密文書、再生可能な紙ごみ)の再資源化、用紙使用量の削減(帳票電子化等)  
割り箸を製紙会社に送り再資源化。  
生ゴミ処理機により、ゴミの減量化・肥料化。

## ガス導管工事における排出物削減と再資源化

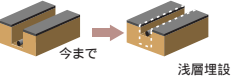
新工法の採用、再資源化の推進等によりアスファルト・コンクリート・土砂等の排出量の削減に努めています。

### ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化

非開削工法による掘削土の削減  
道路を掘らないでガス導管を埋設する工法

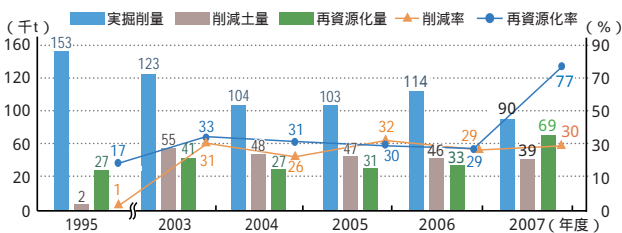


浅層埋設による掘削土の削減  
道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法



掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用  
ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

### 掘削土処理状況



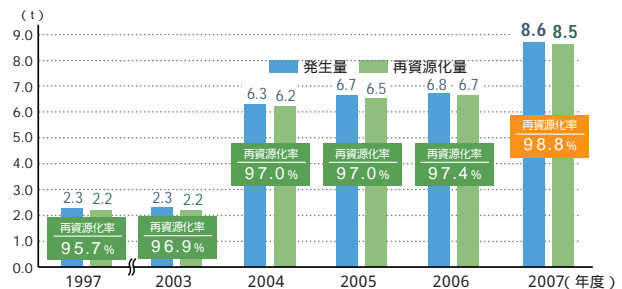
### ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン管(PE管)を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は再資源化しています。



PE管の残管置場

### PE管廃材の再資源化量



## 環境に関する規制遵守

2007年度も環境に関する法令違反や罰則はありませんでした。

### 化学物質の管理



#### アスベスト使用状況調査とその対応

当社および関係会社6社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備等における使用状況を調査したところ、健康被害はありませんでしたが一部使用が確認され、その内、吹き付け部が露出している1カ所のアスベスト除去を2005年10月に完了しました。調査結果は2005年9月に公表するとともに、適切に対応を行っています。

#### PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理

トランス、コンデンサー等に使用されていたPCBは保管場所を決め集積・管理し、行政へ管理状況を報告しています。

#### PRTR法 への対応

化学物質の取扱い量は天然ガス転換により激減し、2007年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

#### PRTR法

特定の化学物質を規定量以上取扱った際に排出・移動量を届け出る事を定めた法律。

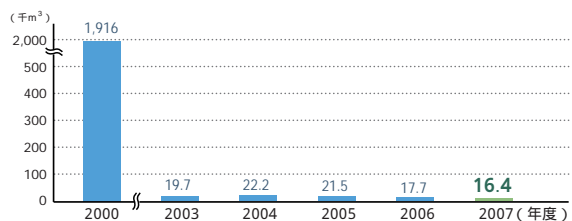
### 地球温暖化対策推進法への対応

第1種エネルギー管理指定工場を有する当社は、2006年4月1日付の「地球温暖化対策の推進に関する法律」の改正・施行に基づき、当社工場の排出する地球温暖化ガスの2007年度分について、その排出量を法に従って算定し、国等に適切に報告しました。

### 水資源・使用量の削減

天然ガスへの転換により、都市ガスの製造工程が簡略化され、水の使用量および排水量も格段に減少しています。

#### 製造所での水使用量



## 土壌調査とその対応



当社は、天然ガス転換完了を機に石炭を主原料としていた旧海田工場並びに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、砒素、シアン等による汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えておりますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に終了しました。その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、旧海田工場跡地につきましては、揚水井戸、水処理装置の運用により、揚水による浄化を継続しています。



水処理設備(旧海田工場跡地)

## 地域環境保全への貢献

### 事業所における環境保全活動

#### 地域清掃活動

「自分たちの町は自分たちの手できれいに」をスローガンに、毎月1回各事業所周辺の美化活動を実施しています。

なお、2007年6月には、広島市中心部の清掃活動「ごみゼロクリーンウオーク」、7月には「クリーン太田川」河川一斉清掃にも参加しました。



事務所周辺清掃(各事務所で月1回実施)

#### 植樹による環境啓発活動

廿日市工場および備後工場では、地域の人々や社員に対して地球環境保全の啓発に活用するため、NOxの吸収能力に優れたヒマラヤ桜等の樹木を栽培しています。2005年度には、2000年スペースシャトル「エンデバー」に宇宙飛行士毛利衛さんと一緒に搭乗した、宇宙桜(エゾヤマザクラ)を植樹しました。



宇宙桜(備後工場)

### 地域における環境教育の実施 HP P.49

行政、学校等と連携して環境教育活動を推進しています。

#### 環境教育実績

開催期日	内容
2007年度 通期	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前授業(社会分野 P.49参照) サイエンスショー【小学校21校、中学校3校、その他6カ所訪問】 環境エネルギー授業【小学校1校訪問】</li> <li>エネルギー・コミュニケーター((財)社会経済生産性本部)の養成・活用 環境教育・工場見学【廿日市工場251名、備後工場4名】</li> <li>総合学習支援(社会分野 P.50参照) 広島大学附属東雲中学校【環境授業、工場見学、エコ・クッキング等】</li> <li>公民館等環境教育 エコ・クッキング、サイエンスショー等【公民館主催 13回開催502名】</li> <li>高齢者向け安全・環境セミナー 環境教育・都市ガスの上手な使い方【公民館主催 6回開催167名】</li> <li>生協ひろしまエコ・クッキング エコ・クッキング【生協ひろしま共催 9回開催238名】</li> <li>広島消費者協会エコ・クッキング エコ・クッキング【(社)広島消費者協会主催 2回開催45名】</li> </ul>
2007.6	広島修道大学講義
2007.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島国際学院大学地域連携フェアにて講演</li> <li>先生方のためのエネルギー・環境問題セミナー・講演会 エコ・クッキング、技術研究所見学 【主催:エネルギー・環境教育情報センター 10名】</li> </ul>
2007.10	「日本女性会議2007ひろしま」パネリスト

### ショールームにおける環境啓発活動

ガストピアセンター(ショールーム)においては、エコ・クッキング等の環境関連セミナーを開催しています。



生協ひろしまエコ・クッキング



広島大学附属東雲中学校環境授業

エコ・クッキング料理教室  
環境に配慮した調理方法(買い物・調理・後片付け)を学ぶ料理教室

「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標です。

### 各種環境フェア等への出展 HP P.49

#### 環境イベント参加実績

開催期日	内容
2007.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>第41回消費生活展【広島市】 サイエンスショー、エネルギー・環境啓発</li> </ul>
2007.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境の日ひろしま大会【環境の日ひろしま大会実行委員会】 子供向けエコ工作教室、天然ガス自動車展示</li> </ul>
2007.5・7・8・11・12 2008.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館・子ども会等サイエンスショー【公民館等9カ所実施】 科学実験を通してのエネルギー環境教育</li> </ul>
2007.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和ミュージアムサイエンスショー【大和ミュージアム】 科学実験を通してのエネルギー環境教育</li> </ul>
2007.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢・化学21【広島大学】 燃料電池実演・展示</li> </ul>
2007.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9回ひろしまバスまつり【第9回ひろしまバスまつり実行委員会】 天然ガス自動車展示</li> <li>尾道トラックまつり【(社)広島県トラック協会尾道支部】 天然ガス自動車展示</li> </ul>
2007.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>くれエコフェスタ2007【くれ環境市民の会】 天然ガス自動車展示、省エネ機器展示</li> </ul>
2007.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>GOGOカーにばる【(社)広島県自動車整備振興会】 天然ガス自動車展示</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年のための科学の祭典【広島市こども文化科学館】 サイエンスショー</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライビングフェア【中国新聞社】 天然ガス自動車展示</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひろしまトラックまつり【(社)広島県トラック協会】 天然ガス自動車展示</li> </ul>
2007.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回環境まつりinおのみち【広島県】 天然ガス自動車展示</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>第4回ひろしま温暖化ストップフェア【広島市地球温暖化対策地域協議会】 サイエンスショー、省エネ機器・パネル展示</li> </ul>
2008.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島市交通科学館サイエンスショー【広島市交通科学館】 科学実験を通してのエネルギー環境教育</li> </ul>

## 地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県内の企業・団体により構成されている環境保全推進組織へ委員として参画し、環境教育・各種イベント等を支援しています。

団体・事業	事務局	支援活動
ひろしま地球環境フォーラム	広島県	イベント支援等
広島県青少年ボランティア活動推進委員会	広島県	青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」協賛
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市	イベント支援等
地球温暖化対策はつかいちさくら協議会	廿日市市	工場見学等
廿日市エコサポーターズクラブ	廿日市市	工場見学等
広島修道大学環境コンテスト	広島修道大学	環境コンテスト「修大エコチャレンジ」後援



広島修道大学エコチャレンジ表彰式

## 本社ビル屋上緑化

2006年1月ヒートアイランド現象の緩和、断熱効果による省エネ等環境保全をねらいに、本社ビル屋上(300m<sup>2</sup>)に樹木を植えた屋上庭園を設置し、社員の憩いの場として活用しています。

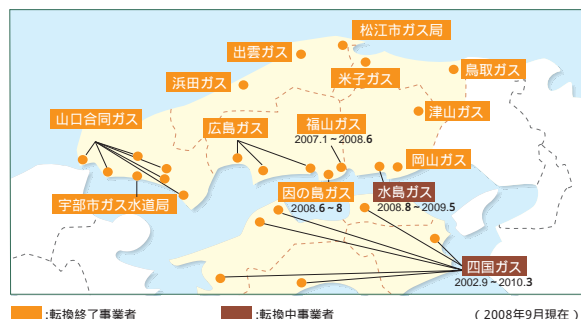


屋上庭園

## 熱量変更作業の共同推進

P.15

2002年4月の当社における天然ガス転換作業完了に引き続き、中国・四国地区都市ガス事業者の高カロリーガスへの転換作業を支援しています。IGF21プロジェクト(2010年までに全国の都市ガス会社を高カロリーガスに統一する)を達成するために、各事業者と協力体制を組み、計画的に転換作業を進めています。



## 広島ガスグループにおける環境関連事業

### LPGタンカー窒素パージ事業(広島ガスサービス(株))

広島ガスサービス(株)は、LPGタンカーのパージ事業を広島ガス海田基地内で実施しています。

事業開始当初は、カーゴタンク内LPG残ガスの80%を海上で大気放出し20%を燃焼処理していましたが、現在はLPG回収設備を設置し、回収したLPGはほぼ全量を都市ガスの増熱用原料として活用(年間約500t)しています。

従来燃焼処理していた約100tのLPGを有効利用することにより、CO<sub>2</sub>発生量は年間約300t-CO<sub>2</sub>削減し、温室効果ガス排出の削減に貢献しています。



窒素パージプラント

### 自動車解体ゴミリサイクル事業(広島ガステクノ(株))

広島ガステクノ(株)は、環境関連設備のエンジニアリングを主要事業としていますが、自動車解体ゴミのリサイクル技術を開発・事業化し、2006年7月広島ガスの旧海田工場跡地内に「ASR 再資源化プラント」を設置し操業しています(処理能力=720t/月)。このASR再資源化技術は、廃棄物炭化・乾留システムというリサイクル率90%以上を誇る独自技術で、有機物と金属類の混在廃棄物を少ない燃料で効率よく乾留させて金属類と炭化物に分類し、生成物は製鉄会社等に販売しています。また、このプラントの設計・施工も行っています。



ASR再資源化プラント: Automobile Shredder Residue (自動車シュレッダーダスト)

# 環境活動のあゆみ

## 環境活動年表

### 広島ガスの取り組み

06 広島ガステクノ(株)自動車解体  
ゴミリサイクル事業開始(ASR再資源化プラント)  
東広島製造所竣工  
水島ステーションおよび導管の竣工

05 日本政策投資銀行「環境配慮型経営促進事業」  
融資制度適用一評価:「特に先進的」  
「チームマイナス6%」参加  
ISO14001-2004移行完了  
(廿日市工場・備後工場)  
広島ガスグループ環境基本理念・  
行動指針制定

04 天然ガスコージェネレーションシステム  
操業開始(廿日市工場)

03 家庭用ガスコージェネレーション  
システム「エコウィル」販売開始  
ノーネクタイ運動実施  
エコオフィス活動立上げ

02 環境目標設定  
環境室設置  
環境基本理念・行動指針の改定  
天然ガス転換完了

01 ISO14001-1996認証取得(備後工場)  
技術研究所竣工

00 環境報告書  
(リスクマネジメントレポート)発刊

99 環境会計導入  
ISO14001-1996認証取得(廿日市工場)  
備後工場竣工  
中・四国初のエコ・ステーション開設

96 廿日市工場竣工

95 天然ガス転換開始

93 環境基本理念・行動指針の策定

1909  
広島ガス創立

### 環境関連外部動向

08 京都議定書第一約束期間(2008~2012)  
北海道洞爺湖サミット

06 IPCC 第4次報告

05 改正地球温暖化対策推進法  
京都議定書目標達成計画

04 京都議定書発効  
事業者の環境配慮活動促進法  
ISO14001-2004改訂

02 ヨハネスブルグサミット/  
改正省エネルギー法/  
土壌汚染対策法/自動車リサイクル法

01 環境省発足/フロン回収破壊法/  
PCB廃棄物適正処理特別措置法/改正自動車NOx法

00 建設リサイクル法/グリーン購入法/  
循環型社会形成推進基本法/改正廃棄物処理法/  
資源有効利用促進法/食品リサイクル法

99 ダイオキシン類特別措置法/PRTR法

98 家電リサイクル法/改正省エネルギー法/  
地球温暖化対策推進法

97 改正廃棄物処理法/  
気候変動枠組条約第3回締結国会議(COP3)

96 ISO14001-1996発行

95 容器包装リサイクル法

93 環境基本法

92 地球サミット

91 再生資源利用促進法

88 オゾン層保護法

72 国連人間環境会議

71 環境庁発足

70 廃棄物処理法

68 大気汚染防止法

67 公害対策基本法

## 環境省ガイドライン対照表

### 「環境報告ガイドライン」 ~ 2007年版 ~

<記載項目>

< We do! 2008 >  
掲載ページ

#### 1. 基本的項目:BI

- BI-1 経営責任者の緒言 ..... 3~4
- BI-2 報告に当たっての基本的要件
  - BI-2-1 報告の対象組織・期間・分野 ..... 1,裏表紙
  - BI-2-2 報告対象組織の範囲と環境負荷の捕捉状況 ..... 19
- BI-3 事業の概要(経営指標を含む) ..... 7~22
- BI-4 環境報告の概要
  - BI-4-1 主要な指標等の一覧...7~8,17~22,29~32,36,40
  - BI-4-2 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、  
計画及び実績等の総括 ..... 27~28
- BI-5 事業活動のマテリアルバランス  
(インプット、内部循環、アウトプット) ..... 29~30

#### 2. 環境マネジメント指標:MPI

- MP-1 環境マネジメントの状況
  - MP-1-1 事業活動における環境配慮の方針 ..... 25~28
  - MP-1-2 環境マネジメントシステムの状況 ..... 25~26
- MP-2 環境に関する規制の遵守状況 ..... 36
- MP-3 環境会計情報 ..... 31~32
- MP-4 環境に配慮した投融資の状況 ..... 31~32
- MP-5 サプライチェーンマネジメント等の状況 ..... 29~30
- MP-6 グリーン購入・調達状況 ..... 27~28,40
- MP-7 環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況 ..... 27~28,33
- MP-8 環境に配慮した輸送に関する状況 ..... 27~28,34
- MP-9 生物多様性の保全と生物資源の  
持続可能な利用の状況 ..... —
- MP-10 環境コミュニケーションの状況 ..... 27~28,37~38,47~50,53~54
- MP-11 環境に関する社会貢献活動の状況 ..... 27~28,37~38,47~50
- MP-12 環境負荷低減に資する商品・サービスの状況 ..... 27~30,33~34

#### 3. オペレーション指標:OPI

- OP-1 総エネルギー投入量及びその低減対策 ..... 29~30,35,40
- OP-2 総物質投入量及びその低減対策 ..... 29~30,40
- OP-3 水資源投入量及びその低減対策 ..... 29~30,36,40
- OP-4 事業エリア内で循環的利用を行っている物質等 ..... 35~36,38,40
- OP-5 総製品生産量又は総商品販売量 ..... 29~30,40
- OP-6 温室効果ガスの排出量及びその低減対策 ..... 27~30,33~36,40
- OP-7 大気汚染、生活環境に係る負荷量及び  
その低減対策 ..... 40
- OP-8 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策 ..... 36
- OP-9 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量  
及びその低減対策 ..... 27~30,35~36,40
- OP-10 総排水量等及びその低減対策 ..... —

#### 4. 環境効率指標:EEI

- 環境配慮と経営との関連状況 ..... 31~32

#### 5. 社会パフォーマンス指標:SPI

- 社会的取組の状況
  - 労働安全衛生に関する情報・指標 ..... 52
  - 雇用に関する情報・指標 ..... 51
  - 人権に関する情報・指標 ..... 52
  - 地域及び社会に対する貢献に  
関する情報・指標 ..... 37~38,47~50
  - 企業統治(コーポレートガバナンス)・企業倫理・  
コンプライアンス及び公正取引に関する情報・指標 ..... 11~14
  - 個人情報保護に関する情報・指標 ..... 14
  - 広範な消費者保護及び製品安全に関する情報・指標 ..... 5~6,43~46
  - 企業の社会的側面に関する経済的指標・指標 ..... —
  - その他の社会的項目に関する情報・指標 ..... —



## データ一覧

お客さま先		2005年度	2006年度	2007年度		
お客さま	お客さま件数	427,250	428,330	427,438		
大気	お客さま先でのCO <sub>2</sub> 排出	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	985,488	1,059,602	1,184,667	抑制量は、天然ガス転換およびガスコージェネレーションシステムの普及等による
		抑制量(t-CO <sub>2</sub> )	132,295	146,646	167,444	
<b>事業活動に伴うもの</b>						
原料・製品	原料LNG量(千t)	332.1	364.3	382.4		
	原料LPG量(千t)	1.5	1.4	1.5		
	増熱LPG量(千t)	22.2	11.0	12.1		
	ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	卸供給含む	417.9	453.1	501.7	
卸供給含まず		417.9	449.3	470.6		
	ガス化効率(%)	99.2	99.1	99.0		
エネルギー	購入電力使用量(千kWh)	製造	3,720	4,234	4,399	
		ロス	3,234	3,325	3,209	
		合計	6,954	7,559	7,608	
都市ガス使用量(千m <sup>3</sup> )	製造	製造	5,968	6,312	6,917	
		ロス	420	380	359	
		合計	6,388	6,692	7,276	
用水	用水使用量(千m <sup>3</sup> )	製造	21.5	17.7	16.4	
		ロス	29.0	26.8	23.7	
		合計	50.5	44.5	40.1	
用紙	使用枚数(千枚)	3,252	3,405	3,124		
大気・水質	都市ガス製造時のCO <sub>2</sub>	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	19,024	20,056	21,474	環境省「温室効果ガス排出量算定報告マニュアル」における算定方法により再計算
		排出原単位(g-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	45.7	44.8	45.8	
		抑制量(t-CO <sub>2</sub> )	287,074	289,373	333,014	
	NOx	排出量(t)	22.1	22.8	21.7	
		メタン	排出量(t-CH <sub>4</sub> )	9	10	
	オフィスでのCO <sub>2</sub>	排出量(t-CO <sub>2</sub> )	2,804	3,172	3,052	
排出原単位(g-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )		6.7	7.0	6.1		
廃棄物等	一般廃棄物	発生量(t)	119.9	96.2	98.4	
		再資源化量(t)	87.7	66.6	76.4	
		再資源化率(%)	73.1	69.2	77.6	
		外部排出量(t)	32.2	29.6	22.0	
	産業廃棄物(製造所)	発生量(t)	10.5	18.9	3.6	
		減量化・再資源化量(t)	10.3	18.6	3.3	
		減量化・再資源化率(%)	98.1	98.5	91.8	
		最終処分量(t)	0.2	0.3	0.3	
	産業廃棄物(事業所)	発生量(t)	234.2	157.5	141.9	
		減量化・再資源化量(t)	219.8	124.4	137.4	
		減量化・再資源化率(%)	93.9	79.0	96.8	
		最終処分量(t)	14.5	33.1	4.5	
	ポリエチレン管	発生量(t)	6.7	6.8	8.6	
		再資源化量(t)	6.5	6.7	8.5	
		再資源化率(%)	97.0	97.4	98.8	
鉄鋼管・鋼管	発生量(t)	162.2	258.8	132.2	ガス工事会社分を含む。	
	再資源化量(t)	162.2	258.8	132.2		
	再資源化率(%)	100.0	100.0	100.0		
ガス管工事に伴う土砂	発生量(千t)	103	114	90	ガス工事会社分を含む。 (抑制量は、非開削工法の採用および、浅層埋設の採用等による。)	
	削減率(%)	47	46	39		
	再資源化量(千t)	31.5	28.6	30.4		
	再資源化率(%)	30.0	29.1	77.0		
	再資源化率(%)	30.0	29.1	77.0		
天然ガス自動車	普及台数(台)	乗用車	244	259	285	普及台数は、広域ガス管内での値を示す。
		トラック	230	276	310	
		塵芥車	18	25	30	
		バス	12	19	26	
		合計	504	579	651	
		社内導入台数(台)	135	147	166	
グリーン購入	購入率(%)	74	89	84.4		
<b>CO<sub>2</sub>排出係数</b>						
購入電力	全電源平均値(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.555	0.555	0.555	1	
	火力平均値(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.69	0.69	0.69	2	
都市ガス	13A(kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> N)	2.36	2.36	2.36	当社の都市ガス(13A)の代表的な組成から算出	

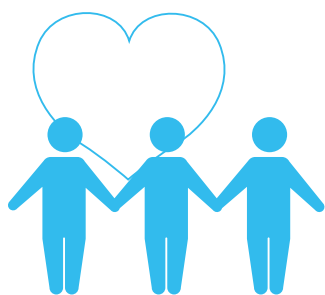
1 特定排出者の事業活動に伴う、温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(2006.3 経済産業省、環境省令 第3号)

2 中央環境審議会目標達成シナリオ小委員会中間まとめ(2001.6)

# 社会分野

地域の皆さまとともに、サステナブル(持続可能な)社会の実現にむけた取り組みを推進してまいります。

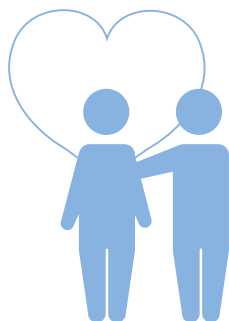
## 社会活動の考え方



### 地域社会との関わり

地域の皆さまのために、地域の未来のために、さまざまな貢献活動を行っています。

▶ P.47



### 従業員との関わり

やりがい・働きがいがあり、従業員にとっても働きやすいそんな、職場環境をめざします。

▶ P.51

広島  
活

サステナブル社会



当社は創立以来、公益事業者として社会基盤を支える必要不可欠な事業とサービスを提供させていただき、揺るぎのない「信頼」という資産 = ブランドを築き上げてきました。エネルギーを安定的かつ安全にお届けし、安心して安全にお使いいただくという本来業務に加え、地域の皆さまと連携したさまざまな活動を通じ、サステナブル社会の実現に取り組んでまいります。社会分野ではその活動をご紹介します。

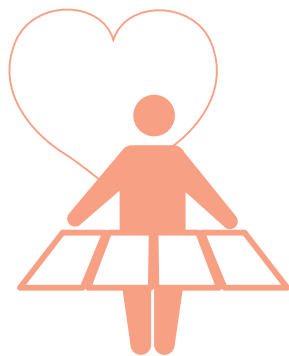
# ガスの動



## お客さまとの関わり

都市ガスを安定的・安全かつ安心して安全に、そして満足してご利用いただけるよう、さまざまな対策をきめ細かく実施しています。

▶ P.43



## 情報発信・コミュニケーション

広島ガスは「社会的責任」を果たすため、さまざまな情報を発信しています。

▶ P.53

の実現をめざして

## お客さまとの関わり

都市ガスを安定的・安全かつ安心して安全に、そして満



輸送



輸送

### LNG船による輸送

LNG船は国際条約に従って安全航行に努め、燃料にも天然ガスを併用し環境へ配慮しています。



インドネシア ボンタン基地



LNG船 スリヤアキ

輸送中にLNGが気化したボイル・オフ・ガスの船舶燃料への有効利用(環境負荷の低減)  
 港湾設備の保安対策の強化・実施(改正ソールス条約対応等)  
 荷役作業時のコンピュータシステムによる常時監視と船陸相互の作業手順確認の徹底



製造



製造

### 廿日市工場・備後工場・東広島製造所

環境に配慮し災害に強い工場で都市ガスを製造しています。



中央制御室での一括監視  
(廿日市工場)



化学消防車(廿日市工場)

安全性と景観に配慮した地中式(ピットイン式)LNG貯槽の採用  
 景観に配慮した工場全体の色彩計画  
 行政や業界の技術基準に対応した設備の設計・建設  
 (材料、溶接、耐震設計等)  
 コンピュータシステムによる運転制御・誤操作防止と中央制御室での24時間一括監視  
 オペレーター等の教育の徹底と緊急措置訓練の実施  
 法定・自主基準による設備保全の実施  
 防災設備の設置  
 (水幕、散水、粉末消火、泡消火、化学消防車等)  
 地中式(ピットイン式)LNG貯槽  
 地中に構築したコンクリート製のピットの中にLNG貯槽を設置するタイプで、日本では当社が初めて採用しました。このタイプは、液面が常に地表面よりも下にあり、外周のピットが防液堤の役目を果たす等、安全性にも優れています。



供給



供給

### 都市ガスのお届け

都市ガスの供給状況を一元管理し、安定供給と保安の確保に努めます。



中央監視制御室



技能者の養成(緊急措置)

ブロック化による供給停止エリアの限定  
(広島地区概念図)



行政や業界の基準に対応した設備の耐震設計と耐震性の高い導管設備の導入  
 (ポリエチレン管、融着継手、メカニカル継手等)  
 ガスホルダー、整圧器、導管等の巡視・点検・検査等の実施  
 中央監視制御室での遠隔による送出圧力等の監視・操作  
 (24時間常時監視)  
 作業担当者等の教育の徹底と緊急措置訓練の実施  
 マッピングシステムの活用  
 (導管と地図情報のデータベース化)  
 導管網の区分化(ブロック化)による被害の最小化  
 保安指令システムの活用  
 (保安出動の迅速化と保安情報の整理)

消費

P.45

足してご利用いただけるよう、各段階でさまざまな対策を実施しています。

HP

P.5

製造

### 都市ガス原料( LNG:液化天然ガス )の受入作業 廿日工場 中村 正人



廿日工場において、設備の保守・修理と都市ガス原料であるLNGの受入業務を担当しています。LNGは超低温( マイナス162度 )のため、一気に工場の受入配管・貯槽( 受入タンク )に流し込むのではなく、徐々に受け入れていきます。そのため、作業時間は、通常午後から翌朝未明までを要し、かつ、屋外での作業となることから、真冬や真夏は相当厳しい条件となります。

また、作業は工場の要員のみならずさまざまな関係者と共同で行っており、LNG船の外国籍乗組員とも、英語や身振り手振りも駆使しつつ、コミュニケーションを密にとりながら、安全・確実に作業を進めています。

LNGの受入作業は、お客さまにガスをお届けするための国内業務のトップバッターであるとの認識のもと、しっかりと次の段階につなげるよう全力を尽くしています。

### 都市ガス製造工場での保安対策 廿日工場 藤本 速人



都市ガスの製造オペレーション業務を担当しています。廿日工場は、広島ガスの主力工場で24時間365日操業しています。

そのため、我々オペレーターは、昼夜・土日祝日を問わず3交代で勤務し、日常からの設備の運転・監視はもちろん、事故防止のためのパトロールやガス漏れ点検を行い、異常等の早期の発見および対処を心がけています。同時に、自然災害を含めたさまざまなトラブルを想定した緊急措置訓練を繰り返し実施する等、有事に備えた対策もとっています。

また、設備を停止しての定期的な整備も都市ガスの品質確保には欠かせない重要な業務です。このような場合には、運転可能な設備を最大限活用して製造を行います。この辺りがまさにオペレーターのノウハウであり、後の世代への伝承も大切な使命と感じています。

さらに、近年の世界的な環境問題への意識の高まりもあり、安全運転・安定供給を大前提とした上で、省エネ・CO<sub>2</sub>削減という視点にも配慮した運転を心がけています。

### 広島・呉地区における供給安定性の一層の向上のために 東広島製造所 山崎 政春



東広島製造所で製造オペレーションを担当しています。近年の広島地区東部・呉地区向けのガスご使用量の増大に対する供給安定性の一層の向上のため、主力の廿日工場をバックアップする役割を担っています。そのため、廿日工場とは常に緻密な連携を図り、当製造所の役割を的確に果たすよう努めています。

業務の守備範囲は、オペレーションはもとよりLNG、LPGローリーの受入、日常の修理、定期メンテナンスと幅広く担当しており、いつ何時、緊急製造の要請があっても万全な状態に維持しています。

当社は、2009年に創立100周年という節目を迎えますが、今後とも都市ガスの安定供給の精神のもと製造所業務に最善を尽くします。

供給

### ガス導管の保安対策 供給部 岡平 直大



広島ガスでは、万が一のガス漏えいおよび導管事故等に備え、24時間365日の緊急出動体制を整備しています。

ガス漏れ等通報があった場合には、ただちに現場に急行します。現場では、速やかに異常の有無を調査し、必要に応じて復旧作業を行います。また、ガス漏れでガス管の本格的な修理が必要な場合、修理完了までの期間の対応として、暫定供給( 仮設配管又は移動式ガス発生設備設置 )を行い、ガスを継続してご使用いただけるよう努めています。作業にあたっては、迅速な対応に努めますが、常にお客さまの安全を第一に考え、確実に実施します。作業内容をご説明する際にも、なるべく分かりやすい言葉で納得いただけるよう心がけています。

万が一のトラブルが発生した場合でも、速やかにお客さまの不安を取り除き、引き続き安心してガスをお使いいただくべく、日々懸命に取り組んでいます。

## お客さまとの関わり

都市ガスを安定的・安全かつ安心して安全に、そして満



### お客さま

充実したお客さまサービスや安全で快適なガスライフを提供しています。



法定保安巡回



技能者の養成  
(ガス機器修理)



安全対策の周知活動  
(換気)

安全設備・機器の普及促進  
定期的なお客さま宅での法定保安点検の実施  
(ガス漏れ検査、給排気調査)  
ガス機器・設備の使用方法・安全対策等の周知  
保安センターの設置  
(ガス漏れ・供給支障の24時間受付)  
コールセンター・お客さま相談窓口の設置  
社内資格制度による工事・点検等の技能者の養成および教育の実施  
新CISの構築  
(お客さま接点業務の一元管理、お客さまの声の記録・蓄積・活用)  
広島ガスグループ従業員を対象としたCSマインドアップ研修の実施



### お客さまが満足してガスをお使いいただくために お客さま部 入迫香



広島ガスでは、2007年1月よりお客さまからのお問い合わせ電話に対応するコールセンターの部分的運用(広島、呉地区を対象)を開始し、同年10月からは、広島ガス全エリアのお客さま(広島、呉、尾道・三原地区)の受付窓口を一本化する体制となりました。

お問い合わせの内容は、転居時のガス栓の開閉やガス機器の修理、料金に関するものまで幅広いのですが、正確に素早く、気持ちの良い印象を持っていただけるよう心がけています。特に電話は、声だけのやりとりですので、思いもかけないことから、お客さまがガスから離れてしまうきっかけにもなりかねません。その意味で、いかにお客さまの立場でご要望を伺えるかが重要であると考えています。

常にお客さまの視点で対応することで、電話を置いた後も、お客さまが引き続き満足してガスをご使用いただけるよう、日々レベルアップしていきたいと思っております。

足してご利用いただけるよう、各段階でさまざまな対策を実施しています。

HP

P.5

消費

### ガスを安全にお使いいただくために (お客さま敷地内の経年ガス管の改善に向けて) 供給部 安達 葉子



1983年(昭和58年)10月以前に建てられたお宅に使用されている垂鉛メッキ鋼管(通称:白ガス管)の、埋設部分では、年数が経つと腐食の可能性があります。「およそ20年が取り替えの目安」と言われています。広島ガスでは、お客さまに順次お取り替えをお勧めしています。

お客さま敷地内のガス管はお客さま資産のため、取り替えに係る工事費用は、お客さまのご負担となります。最初にご説明しても納得いただけない事もありますが、何度もお伺いする中で、広島ガスの社員の立場としてのご説明だけでなく、時には主婦の視点や子どもを持つ親の視点等お客さまの立場に立って、お話をさせていただきよう工夫しています。

そうした事の積み重ねの上でご説明させていただくと、「取替えの目安時期にきている」という状況を次第にご理解いただけるようです。

最終的には、お客さまにとって、費用をかけてただ単にガス管を取り替えるのではなく、『今後も安心してガスをお使いいただくために』必要な工事であるという事をご理解いただき、改修工事をお勧めするよう努めています。

### ガスを安全にお使いいただくために (安全周知の徹底) 営業技術部 谷 孝司



お客さまに安心してガスをお使いいただくため、ガス機器使用に関する保安の確保を図るべく業務に取り組んでいます。

ガス機器安全使用の際のポイントは換気です。

安全装置を装備した最新型のガス機器をお使いいただくのが望ましいのですが、安全装置の付いていない古いガス機器でも、しっかりと換気を行い、正しい使用方法を守ってお使いいただくことで事故は回避できます。

「ガス機器使用の際は必ず換気を行う」、この意識をお客さまに持っていただくための活動を広島ガスグループで連携して推進しています。

### 3年に1回の法定保安巡回を通じて 広島ガスサービス 國川 克彦



3年に1回、お客さま宅を訪問し、宅内のガス設備の安全点検を実施しています。お客さまが引き続き安全にガスをご使用いただけるよう、細心の注意を払いながら作業を進めるのは言うまでもありませんが、いろいろと物騒な事件が起きている今のご時世、訪問した瞬間は、警戒心をお持ちの方もいらっしゃるようです。そこで、訪問時の挨拶をしっかりと行うとともに、一つひとつの作業を復唱しながら確実に進めると、お客さまの不安や警戒心は徐々に解消されていくようです。作業終了後は、点検結果の内容を分かり易く丁寧にご説明しています。

私達の直接的な役割はガス設備の安全点検ですが、同時に3年に1回のこの接点を通じ、お客さまの広島ガスグループに対するイメージを少しでも上げていただけるよう、サービスの向上を心がけています。

## 地域社会との関わり

広島ガスは、元気な広島のまちづくりにむけ、地元の財産である三大プロ団体をサポートしています。



### 「広島東洋カープ合同応援」の実施

#### がんばれカープ! 地元4社で合同応援

広島の活性化をめざし、2003年度より当社と中国電力(株)で、地元のプロ野球球団である広島東洋カープの合同応援を開始しました。2005年度からは(株)広島銀行が、2006年度からは(株)中電工が加わり、現在は4社で実施しています。

2007年度は、8月の2試合(対阪神戦、巨人戦)で実施、4社の合計で約1,780人の役員・社員とその家族が広島市民球場に集い、4社合同で用意した応援グッズを手に熱い声援を送りました。



横断幕を広げて声援を送る4社の参加者

### サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」を開催

#### Go!サンフレッチェ!!勝利にむけて

Jリーグ「サンフレッチェ広島」をサポートし、地域の活力アップにつながるようとの願いを込め、「広島ガス スポンサードゲーム」を開催しています。

2007年度は10月に広島ビックアリーナでのジェフユナイテッド千葉戦で実施、約100人の役員・社員が集結し、約10,000人のサポーターとともに熱い声援を送りました。

さらに、ハーフタイムでは、当社の天然ガス自動車を先頭にした地域の子どものスタジアム行進や、当社社員が出演するサンフレッチェ応援映像をオーロラビジョンに放映する等、さまざまな演出でゲームを盛り上げ、サンフレッチェの勝利にむけたメッセージを発信しました。



試合後のセレモニー



ハーフタイム時の行進(子どもたち、CNG車)

### 「第21回広響ホットコンサート」を開催

#### お客さま、地域の皆さまに日ごろの感謝の気持ちを込めて

中・四国唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」。その広響のサポートと地域に貢献させていただくことを目的に、広響ホットコンサートを開催しています。

21回目となる2007年度は、9月に広島厚生年金会館にて、「ふたつのアニバーサリー 北欧の巨匠たち」と題し、ピアニストの近藤嘉宏氏、指揮者に船橋洋介氏を迎え、公募招待の1,000人を含む約1,500人のお客さまに優雅な演奏を堪能いただきました。



コンサートステージ



演奏の様子



地域と密着したさまざまな活動に取り組んでいます。

### ひろしまフラワーフェスティバルへの参加

地域の皆さまとともに、地元の活性化にむけて

毎年5月3日～5日に開催され、全国でも有数の来場者数(2008年度:約166万人)を誇るひろしまフラワーフェスティバルに参加しています。

2007年度は、市民の皆さまにゆっくりとお過ごしいただける憩いのスペースを提供するとともに、2006年度に続き、夜神楽「ふるさとは神楽 de Night(今宵は神楽 de ガス)」に協賛、地域の文化活動の支援も行っています。

また、環境保全の観点から、JT(日本たばこ産業(株))が主催する清掃活動にも参加、他の企業とも協力してきれいな街づくりにも貢献させていただきました。



憩いのスペース GASLAND



ふるさとは神楽 de Night  
今宵は神楽 de Gas



JT清掃活動への参加

### 広島ガスバドミントン部における地域のスポーツ振興にむけた活動

小学校等におけるバドミントン講習会の実施

広島ガスバドミントン部は、広島市とその近郊の小学校等を訪問し、バドミントンの講習会を開催、地域の子どもたちにバドミントンやスポーツの楽しさをお伝えしています。

2007年度は22カ所を訪問、約1,900人が講習会に参加しました。



講習会

地域の各種イベントへの参加

また同部は、「トップスひろしま<sup>\*</sup>」の一員として、地域のさまざまなイベントにも参加しています。

イベント参加の際には、トップスひろしまのPR(トップス全チームのグッズ展示やサイン会)に努めるとともに、例えばひろしまフラワーフェスティバルにおいては、主要イベントであるパレードへの参加も行う等、イベント全体の盛り上がりにも一役買えるよう取り組んでいます。



ひろしまフラワーフェスティバル参加のトップスひろしまメンバー

#### 広島ガスバドミントン部

1995年3月に創部の実業団チーム。現在、日本リーグ部に所属、日本のトップレベルで活躍中(2008年9月末時点)。

また、同部は、広島県のトップスポーツクラブが所属する「トップスひろしま」に加盟。地域のスポーツ振興にむけた活動にも取り組んでいる。

#### \*トップスひろしま

広島県のトップスポーツクラブが加入し、広島県の発展にむけて活動する組織。

サッカーJリーグ「サンフレッチェ広島」やバレーボールVリーグ「JTサンダース」等もメンバーで、競技の枠をこえ、「オール広島 オールスポーツ」の実現にむけてさまざまな活動を展開している(2008年9月末時点)。



## 地域社会との関わり(次世代教育への取り組み)

HP P.37

広島ガスでは、地域にエネルギーを供給する事業者として、エネルギー・環境関連を中心に行政、教育委員会、学校、大学、業界等と連携し、次世代教育に積極的に取り組んでいます。



当社の取り組みが、将来を担う世代の育成に寄与し、日本経済・地域社会等の発展・活性化につながればと考えています。

### 出前授業によるサイエンスショーの実施

理科や科学の楽しさについて、実験を通じて分かりやすく紹介する「サイエンスショー」を出前授業形式で展開し、県内の小中学校を年間20～30校程度訪問しています。冷熱実験や燃焼実験に加え、天然ガスの特性や環境の大切さ等もお伝えしており、理科のみでなく総合学習講座としてもご利用いただいています。なお、サイエンスショーは、小中学校に加え、県や市の公的な施設・イベント等でも実施しています。

主な実施場所

学校	公的施設	イベント等
・県内の小中学校 (年間20～30校程度)	・広島市子ども文化科学館 ・広島市交通科学館 ・呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム) ・県内の公民館 等	・ひろしま温暖化ストップ!フェア ・消費生活展 ・青少年のための科学の祭典 ・三次子どもチャレンジ講座 (教育委員会との連携プログラム) 等



小学校での出前授業

### スーパーサイエンスミュージアム(SSM)の実施

広島県内の教育関係者、広島市子ども文化科学館、広島ガスで実行委員会を立ち上げ、理科・科学好き小学生の育成をめざし活動を開始、2008年度で第6期生を迎えています。対象は小学校5～6年生の選抜メンバーで、年間20回程度の学習指導要領にとらわれない高度な理科講座を展開、地元企業のマツダ(株)にもご協力いただき、企業プログラムも取り入れています。

なお、SSMは2003年度に(財)社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター主催のエネルギー広報活動表彰制度における「エネルギー環境教育情報センター運営委員長奨励賞」を受賞しています。

SSMの主な講座内容

- 遺伝子組み換え
- 小動物の骨格標本の製作
- 動物の体のつくり(カエルの解剖)
- タンパク質の電気泳動
- 昆虫の世界
- 養老孟司先生との宿泊研修(昆虫採集、天体観測等)
- 化学変化とエネルギー(熱を動かす、光を作る)
- 大地の歴史(ボーリング調査)
- 蒸気機関車の製作
- 恐竜研究(博物館連携プログラム)
- 化石から探る地球の歴史
- 化学物質から「におい」をつくる
- 「自動車の科学」(マツダ(株))



宿泊研修



実験風景

参加者の声

### SSMを受講して

保護者 吉田 真一さん

子どもの頃の学習は受け身になりがちだと思います。講座を通じ、息子に自主的に学ぶ姿勢が身につく、日頃接点のない方々と交流することで人間関係の面でも成長したように感じます。保護者同伴の講座で、私自身も昔を思い出しながら、一緒になって楽しく参加しています。このような機会のご提供と、関係者の皆様のご尽力に感謝しています。



受講者 吉田 真也くん

一番興味があった講座は遺伝子の組み換えです。講座では遺伝子を混ぜて光る大腸菌を作り、元のものから新しく違うものが生まれる点に興味を持ちました。SSMでは学校で習わないことをたくさん学べて楽しいです。興味を持って色々なことを勉強し、将来の夢である科学者になれば良いなと思います。



「エネルギー環境教育情報センター運営委員長奨励賞」受賞

## 理科大好き広島っ子おもしろプロジェクトへの参画

2007年度から、経済産業省と文部科学省連携のもと、地元産業界の技術者等の協力を仰ぎ、児童が学ぶ理科と実社会を結びつけ、生きた理科授業の実施を支援する「理科実験教室プロジェクト」が開始されました。

当社では、技術研究所がこのプロジェクトに参画、広島市の小学校を訪問し、物質の燃え方、物質の三態、エネルギー(LNG)が届くまで、天然ガスの特徴と新規利用技術、省エネルギー対策等、当社の事業形態と絡めた内容について、実験も交えながら授業を行いました。



興味深く実験に取り組む児童

## 総合学習の支援

2005年9月から中学生を対象に、1年半(2学年後半～3学年卒業)の長期間にわたり総合学習の支援を行っています。

いくつかの総合学習コースのうち、当社では環境コースと国際交流インドネシアコースを担当、2008年度で4期生を迎えています。

広島大学附属東雲中学校と長期間にわたり総合学習を共同で実施し、企業と学校での新たな総合学習のモデルを共同研究しています。なお、活動概要や成果は、中学校教育研究会等で共同発表しています。

### 環境コース

東雲中の環境改善活動を指導  
工場見学、環境授業、エコ・クッキング

### 国際交流インドネシアコース

インドネシア語講座  
インドネシア料理教室  
インドネシア民族楽器教室

## 教育委員会民間企業派遣研修の受け入れ

教育委員会の民間企業研修として、県内の先生方を受け入れています。

「社会構成員としての視野の拡大」等教育委員会の研修目的にマッチするよう、6カ月にわたり各職場にご配属。今後の教育活動の参考となるよう、当社における企業人としてのあり方や、都市ガスの安定供給・保安の確保等のガス事業の特性をお伝えしています。

参加者の声

### 民間企業研修を受けて 呉市立郷原中学校 向山 泰司先生

民間企業の組織マネジメントを学び、学校運営に生かしていくことを目的として、研修を受けさせていただきました。組織の目標を達成させるためには、使命を明確にした個々の目標設定や人材育成の大切さを教わりました。また、私たちが安心してガスを利用できるその陰には、非常に多くの労力が注がれていることに驚きました。その中で、子どもたちには、「辛くても粘り強くがんばる中で、楽しさを見つける力」や「よりよい人間関係をつくる力」を育てることの必要性を強く感じました。学校に戻っても、ガスの炎のような熱い情熱をもって、研修の成果を役立てていきたいと思っております。ありがとうございました。



## インターンシップの受け入れ(大学生)

広島ガスでは2000年度からインターンシップの受け入れを開始。2007年度は広島県内の大学生4名が、希望により各部署に配属され、ガス事業における製造業務や営業業務、広報誌の編集等の実務を体験されました。

参加者の声

### インターンシップを体験して

#### 県立広島大学 加藤 大輔さん

広報関係業務の他、クッキングコンテスト等、さまざまな社外交流業務にも参加させていただきました。広報誌作成時の取材では、ただ参加するのではなく、記事をまとめるという明確な目的をもって取り組む姿勢の大切さを再認識できました。この姿勢は、全ての事に通じる基本的かつ非常に重要なものだと思います。今回再認識できたこの姿勢を、残りの大学生活、その先の社会生活においても、心がけていきたいと思っております。



#### 広島大学 河本 真美さん

広報誌の作成やイベントのお手伝い等多くのことを経験させていただき、また社員の方一人ひとりが会社を良くしていこうという積極的な姿勢を深く感じました。

広島という地域に密着・貢献して、会社の利益だけを追求するのではない会社のありかたに触れ、広島ガスという会社そして社員の方々に大きな信頼感をもつことができました。

お忙しい中、時間を割いてさまざまな事を教えていただき、本当にありがとうございました。

## 施設見学の受け入れ

学校・団体等からのご要望により、廿日市工場、備後工場、技術研究所等の見学を随時受け入れています。また、ご要望により当社の環境に対する取り組みも紹介し、学校では「総合的な学習の時間」の一環としても活用いただいています。



工場見学(廿日市工場)

## エネルギー・コミュニケーターの活用

(財)社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センターの「エネルギー・コミュニケーター」を養成し、環境教育の講師として、工場見学者に対し環境・エネルギー教育を実施するとともに、小・中・高等学校からの要請に対応して出前授業を実施する等「総合的な学習の時間」への支援を行っています。



エネルギー・コミュニケーターによる出前授業

## 従業員との関わり

企業が発展していくためには、従業員の「力(ちから)」が不可欠です。従業員にとって、やりがい・働きがいがあり、働きやすい、そんな職場環境づくりをめざしています。



### 雇用

地域社会に貢献できる人材を確保するため、自己成長をめざす自立型の人材を求めています。採用にあたっては、男女雇用機会均等法を遵守して男女間に格差が生じないよう公正な選考を行うほか、障害者の雇用や定年退職後の継続雇用にも取り組んでいます。

雇用状況の推移

区分	年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
期末要員数(人)		708	692	679	660	651
平均年齢(歳)		37.9	38.5	39.3	39.8	40.6
平均勤続年数(年)		16.1	16.3	17.3	17.8	18.5
新卒正社員採用数(人)		5	5	0	8	0
障害者雇用数(人)		9	11	13	12	11

### 人事制度

中期経営計画を達成するためには、全従業員が諸課題に対して果敢にチャレンジし、「活力ある組織づくり」を実現していく必要があります。また、経営を支える支柱は「人材(人財)」であり、会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、そのためには「やりがい・働きがい」の向上につながる仕組みづくりが重要です。

当社では、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、課題業務の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事制度を構築・運用しています。能力や成果を評価する評定者に対しては、毎年集合研修・評定者訓練を実施しています。

また、従業員の育成や自己啓発を支援するさまざまな研修コースを充実させ、従業員のチャレンジを支援しており、その成果を持ち点として登録し、人事制度ともリンクさせています。

人事処遇制度の概念図



研修体系図(例)

	新入社員					管理職能	
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修		ジュニアリーダー研修	マネジメントマインド研修	新任管理職研修	管理職(M1)研修	
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)		ODP入社3年目研修		ODP入社8年目研修		CDP40歳時研修	ODP50歳時研修
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	「コミュニケーションの基本」 「創意思工力研修」	「報・連・相を軸にした職場コミュニケーション強化研修」	「ロジカルシンキングと問題解決研修」	「企画力強化研修」 「ファシリテーション研修」	「モチベーションマネジメント研修」 「コーチング研修」	「情報力強化研修」	「評定者訓練」
社内研修 (社内資格研修等)	<ガス基本スキル> おたのび操作・営業・供給 <ビジネス基本研修> ビジネスマナー・電話応対	<ガス専門スキル研修(各種資格研修)> 営業(保安サービス員・機器サービス技術士等) 供給(本支管工事士・内管工事監督士等)	<技能向上研修> 営業(ハイベア販売設計・エコウィル基礎・厨房機器メンテ等) 供給(本支管工事フォロー・供給保安業務技能教育等)			<オーダーメイド研修> 例: コールセンター・コミュニケーション・育成 安全衛生推進者養成講習	
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップ等)			各種部門内研修 各種社外講演会 異業種交流セミナー				
人間性を磨く			人権学習会・マナー講演会・マネジメント講演会				
国内外留学			国内留学	海外留学 (MBA取得)			
自己啓発支援			通信講座受講支援				
			資格取得支援				

## 女性人材の積極的な活用

女性の能力の活用が企業の発展に欠かせないものであるという認識が広がるなか、当社においても、事業や業種の特性上これまで男性主体になりがちだった職場環境や社員の意識を改革し、女性の職域拡大や、女性が働きやすく、そして能力を発揮できる職場づくりを推進してきました。そうした取り組みは社内のみならずお客さまや派遣先企業にも高く評価され、事業の成果にもつながっています。

主な取り組み(例)

女性管理職を含めた女性の積極的採用  
従来の男性主体の職域に女性社員を配置し、  
職域を拡大  
女性の主任、係長、管理職、  
ショールーム店長等への登用を促進

主任以上の女性数の推移(管理職能・指導職能)

区分	年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
主任以上(人)		29	31	35	36

社員  
の声

リビングエネルギー営業部 ガストピアセンター  
店長 清水 孝子さん



2007年10月、店長として現職場へ着任。女性6名、男性3名とともにショールームの運営業務を行っています。  
運営を任せられている事に対し、大きな責任とやりがいを感じながら、メンバーとともに、明るく、働きやすい職場となるよう取り組んでいます。  
そのために、特に心がけていることは笑顔で挨拶です。メンバーとよりコミュニケーションを図ることができ、その結果、ショールーム全体として、気持ちの良い挨拶と明るい対応に磨きがかかります。足を運んでいただいたお客さまに、「ガストピアにきて良かった」と満足してお帰りいただけるよう、これからもスタッフ全員で頑張っていきます。

## 育児・介護休職制度

社員の活躍を支援する職場づくりの一環として、育児・介護休職制度の利用を促しています。これは女性だけでなく、男性の働き方や育児・介護参加への視点も含めた取り組みであり、社会的責任を果たす上でも大変重要であると考えています。

育児・介護休職制度等の利用者の推移

区分	年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
育児休職制度利用者(人)		6	3	2	2
育児休職制度利用者の復職率(%)		83	100	100	100

「男性の育児参加促進事業実施事業主」の指定

当社は2007年7月から(財)21世紀職業財団広島事務所より、「男性の育児参加促進事業実施事業主」の指定を受け、男性の育児参加を促進するための職場環境の整備に努めています。

## ボランティア休暇制度

社員のボランティア活動を支援するため、環境保全活動、地域社会貢献活動、社会福祉活動等に参加する社員が取得できる「ボランティア休暇制度」を導入しています。

## 人権

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため「広がす人権宣言」を制定するとともに誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

また、社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」を中心に、全社員を対象に人権学習会や人権講習会を開催する等、積極的に啓発活動を推めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(「同和問題の解決をめざす広島企業連絡会」の略称)に加入し、地元企業と連携した人権活動にも取り組んでいます。

## 安全衛生・健康管理

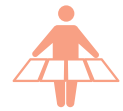
労働安全衛生関係諸法規の遵守はもちろん、「安全衛生管理規程」を制定し、安全衛生管理組織のもとで労働災害の防止と従業員の安全・健康管理の確保、快適な職場環境づくりを行っています。

健康管理面では、当社独自の「健康管理規程」に従い、定期健康診断では産業医の指示のもと、法定検査項目以外の検診も実施するとともに、個別カウンセリングを行っています。また、メンタルヘルスについては、社外のカウンセリング機関と連携、さまざまな情報の提供や管理職への講習会を実施する等、十分配慮しています。

## 情報発信・コミュニケーション

企業の社会的責任を全うするうえで、情報開示は基本的かつ重要な課題です。当社は、本誌やホームページ、各種法定書類等を通じてIRや環境保全に関する情報を適宜発信しているほか、お客さまや地域の消費者団体の皆さまとの交流にも意欲的に取り組んでいます。

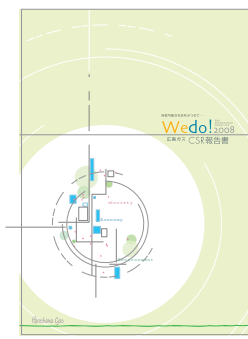
さらに、プレスリリース、グループ広報誌、会社案内、各種パンフレット等を作成して必要な情報をタイムリーに発信しています。



### CSR報告書「We do!」・会社案内 HP

「We do!」は、当社の現況を経営・環境・社会の3つの視点からご報告する年次レポートです。1年間の主な取り組みとその成果についてご報告するだけでなく、将来の経営戦略や事業計画・IR情報等についても詳細にご紹介し、より多くの皆さまに当社の事業活動等を理解していただけるよう、内容の充実に努めています。

また、一般のお客さま向けには会社案内を発行、イラストや写真を多く用いて広島ガスの事業活動をより分かりやすく紹介しています。



「We do! 2008」



COMPANY PROFILE

### 各種IR情報ツール HP

年4回、有価証券報告書等を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行する等、適宜、当社の活動内容や財務状況の全容を明らかにしています。なお、当社のホームページにおいても各種IR情報をご覧いただけます。



第154期報告書



広島ガスホームページ「IR情報」



プレスリリース



決算短信

### グループ広報誌

広島ガスグループ社員が経営重要事項をしっかりと情報共有し、グループ全体の価値向上・リスク管理を行うことを目的に、年7回発行しています。グループ会社の社員に加え、同業他社(エネルギー関係)、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダー等にも配布。当社グループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GAS LAND」

### 広島ガスホームページ

総合エネルギー供給事業を柱とする当社の経営理念・事業内容を十分にご理解いただき、より多くの皆さまのグッドライフにお役立ていただけるよう、多彩な生活情報・ガス器具やガスの保安に関する情報等を迅速に提供しています。

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



報道発表

HP

迅速かつタイムリーに情報を発信しています

当社のトピックスや財務状況等の情報は、記者会見、プレスリリース等を適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまにはマスメディアを通じ報道として伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。

なお、プレスリリース等の資料は、当社のホームページからご覧いただけます。



記者会見の様子

料理教室・セミナーの開催

HP

安心して快適なガスライフを発信しています

当社ショールーム・公民館・住宅展示場等で開催する料理教室やスーパーでの展示会等を通じて、ガス機器の良さを体感していただくための提案活動をしています。また、高齢者の方々に対しては、ガス機器に関する安全性・環境性等をテーマにしたセミナーや料理教室を開催しています。

このようなお客さまとの接点を通じ、安心して快適なガスライフを発信しています。



料理教室セミナー

「'07ガス展」の開催

HP

ガスのある快適な暮らしをご提案

2007年度瓦斯展は、「見つけた!キレイ生活」をテーマに、最新ガス機器の展示・即売のほか、床暖房やミストサウナの体感・実演などを実施、11月17日からの2日間で約1万7千人のお客さまにお越しいただきました。クッキングステージには、深山社長自らが最新型ガスコンロで調理実演を行う等、お客さまにガスのある快適な暮らしを発信しました。



最新型コンロをPRする深山社長



ミストサウナ体感コーナー



2007年度瓦斯展

消費者団体との懇談会

お客さまにガス事業を知っていただくために

当社の事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため、(社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。懇談会では当社の取り組みをご説明するとともに、当社の施設見学や講演会等を行い、当社の活動状況について幅広くご紹介しています。



(社)広島消費者協会との定例懇談会

お客さま  
の声

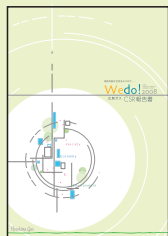
消費者にとって真に有効な情報発信を

社団法人 広島消費者協会 会長 中原 律子さん

最近、企業の情報開示に対するスタンスは随分積極的になってきた一方で、さまざまな情報が氾濫し、消費者にとって何が重要かつ有効なのか不透明な状況も見受けられます。企業は、積極的な開示スタンスと重要性の軽重での取捨選択のバランスをとりつつ、消費者にとって、本当に重要かつ有効な情報が確実に伝わる工夫が必要ではないでしょうか。その上で、消費者自身も自ら判断できる能力(消費者力)を高めることが重要だと思います。



## ■表紙デザイン



青色は「経営」・緑色は「環境」・ピンク色は「社会」を表し、「経営」では都市空間を、「環境」では自然の営みを、「社会」では人々の暮らしを今いる同じ場所ですなっている事を意味しています。

このデザインは、3つの分野が交わることで共に共存していく姿を表しています。互いに尊重しあい、企業の発展と継続を願い、地域とともに繁栄していきたいという想いが込められています。

## 広島ガスCSR報告書 2008

発行 2008年9月(次回予定 2009年9月)

広島ガス株式会社 広島市南区皆実町2丁目7-1  
企画・編集 / 広島ガス We do! 2008制作委員会  
広報環境室 ☎082-252-3000 (直通)



印刷時に有害な廃液が出ない  
「水なし印刷」で印刷しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

広島ガスはチーム・マイナス6%に参加しています。